

三三 三三 二〇 二七 二九 二六 二五 二四 二三 二二 一八 一七 一五 一〇 九 六 六 六 五

正 誤 表

初	九	十	六	七	七	初末	十二	末	四	十	八	四	三	末
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行
規約あり	討論議	振興	突破	擦練	織段	直接新に税	二千四百四十九	×服を除く	其他種類	管單	管單	本邦織	本邦織	
規約あり	討論議	振興	突破	擦練	織段	直接新に税	二萬四千四十九	衣服を除く	其他種類	管單	管單	本邦織	本邦織	

四 三 二 三 九 七 三 三 三 一



一七五	七行	製造家	製造家
一七四	十一行	安値く安値	安値安値
一七〇	四行	考熟	考熟
一六九	九行	Loarno	Loarno
一六八	二行	其爲相場	其爲替相場
一六七	初行	Lenchenmark	Lenchenmark
一六六	十一行	算筒の床	算筒の底
一六五	初行中段	六、七、九、四	六、七、九、四
一六四	三行上段	く絹、絹紡或は交織リボン	く絹、絹紡或は交織リボン (く)は前行へおくり其他一字あげ
一六三	初行四段	一〇三九五法	一基三九五法
一六二	十行	同敷	回数
一六一	四行	Croix-Roussse	Croix-Roussse
一六〇	初行	總額	殘額
一五九	六行	響影	響影
一五八	五、六行	家庭訪問	家庭訪問
一五七	末行	陳記	附記
一五六	五行	比較し	比較して
一五五	五行	開かれたる	開かれたる
一五四	初行	規約ある	規約ある
一五三	九行	討論商議	討論商議
一五二	十、十一行	振興	振興
一五一	六行	突破て	突破して
一五〇	七行	擦練	擦染
一四九	七行	織段	織段
一四八	初末行	直接新に税	直接に新税
一四七	十二行	二千四百四十九	二萬四千四十九
一四六	末行	×服を除く	衣服を除く
一四五	十二行	二、五、五	二、五、五
一四四	四行	其他種類	其他種類
一四三	十行三段	六、七〇、五七	六、七〇、五七
一四二	八行	管單	管單
一四一	四行	本邦染	本邦染
一四〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
一三九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一三八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一三七	四行	管單	管單
一三六	八行	本邦染	本邦染
一三五	三行	35%は關稅	35%は關稅
一三四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一三三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一三二	四行	管單	管單
一三一	四行	本邦染	本邦染
一三〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
一二九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一二八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一二七	四行	管單	管單
一二六	八行	本邦染	本邦染
一二五	三行	35%は關稅	35%は關稅
一二四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一二三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一二二	四行	管單	管單
一二一	四行	本邦染	本邦染
一二〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
一一九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一一八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一一七	四行	管單	管單
一一六	八行	本邦染	本邦染
一一五	三行	35%は關稅	35%は關稅
一一四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一一三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一一二	四行	管單	管單
一一一	四行	本邦染	本邦染
一一〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
一〇九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一〇八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一〇七	四行	管單	管單
一〇六	八行	本邦染	本邦染
一〇五	三行	35%は關稅	35%は關稅
一〇四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一〇三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一〇二	四行	管單	管單
一〇一	四行	本邦染	本邦染
一〇〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
九九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
九八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
九七	四行	管單	管單
九六	八行	本邦染	本邦染
九五	三行	35%は關稅	35%は關稅
九四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
九三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
九二	四行	管單	管單
九一	四行	本邦染	本邦染
九〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
八九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
八八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
八七	四行	管單	管單
八六	八行	本邦染	本邦染
八五	三行	35%は關稅	35%は關稅
八四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
八三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
八二	四行	管單	管單
八一	四行	本邦染	本邦染
八〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
七九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
七八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
七七	四行	管單	管單
七六	八行	本邦染	本邦染
七五	三行	35%は關稅	35%は關稅
七四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
七三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
七二	四行	管單	管單
七一	四行	本邦染	本邦染
七〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
六九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
六八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
六七	四行	管單	管單
六六	八行	本邦染	本邦染
六五	三行	35%は關稅	35%は關稅
六四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
六三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
六二	四行	管單	管單
六一	四行	本邦染	本邦染
六〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
五九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
五八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
五七	四行	管單	管單
五六	八行	本邦染	本邦染
五五	三行	35%は關稅	35%は關稅
五四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
五三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
五二	四行	管單	管單
五一	四行	本邦染	本邦染
五〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
四九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
四八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
四七	四行	管單	管單
四六	八行	本邦染	本邦染
四五	三行	35%は關稅	35%は關稅
四四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
四三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
四二	四行	管單	管單
四一	四行	本邦染	本邦染
四〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
三九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
三八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
三七	四行	管單	管單
三六	八行	本邦染	本邦染
三五	三行	35%は關稅	35%は關稅
三四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
三三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
三二	四行	管單	管單
三一	四行	本邦染	本邦染
三〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
二九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
二八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
二七	四行	管單	管單
二六	八行	本邦染	本邦染
二五	三行	35%は關稅	35%は關稅
二四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
二三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
二二	四行	管單	管單
二一	四行	本邦染	本邦染
二〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
一九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一七	四行	管單	管單
一六	八行	本邦染	本邦染
一五	三行	35%は關稅	35%は關稅
一四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
一三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
一二	四行	管單	管單
一一	四行	本邦染	本邦染
一〇	三行	35%は關稅	35%は關稅
九	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
八	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
七	四行	管單	管單
六	八行	本邦染	本邦染
五	三行	35%は關稅	35%は關稅
四	末行	は小賣費用概略見込	は小賣費用概略見込
三	六行	30%は小賣費用概略見込	30%は小賣費用概略見込
二	四行	管單	管單
一	四行	本邦染	本邦染

歐米市場に於ける本邦絹織物調査報告

緒言

目次

欧米視察旅程概覽



一七	七行	製造家	製造家
一七	十一行	安値く安値	安値安値
一七	四行	考熟	考熟
一六	九行	Loonrho	Loonrho
一六	二行	其爲相場	其爲相場
一六	初行	Lenchenmark	Lenchenmark
一五	十一行	算笥の床	算笥の底
一五	初行中段	六、七、九、四	六、七、九、四
一五	三行上段	一〇三九五法	一基三九五法
一五	初行四段	絹、絹紡或は交織リボン	(く)は前行へおくり其他一字あげ
一四	十行	同数	回数
一四	四行	Croix-rousse	Croix-Rouisse
一三	初行	總額	残額
一三	六行	響影	響影
一三	五、六行	家産訪問	家庭訪問
一三	末行	陳記	附記
一三	五行	比較し	比較して
一三	五行	問かけ	問かけ

# 歐米市場に於ける本邦絹織物調査報告

## 目次

緒言	一
歐米視察旅程概覽	三
米國市場に於ける本邦絹織物調査	三
米國に於ける絹織物製産の概況	三
米國絹織物の産額と原糸	三
米國絹織物の製産區域	一七
使用機械器具の概要	一九
本邦輸出絹織物の概況	三三
米國に輸入せらるる絹織物	三六
米國市場に於ける本邦絹織物の需要狀況—羽二重、縮緬、富士絹、絹紬	三七
米國市場に於ける本邦絹織物の諸外國品との競争狀況	四〇

米國市場に於ける本邦絹織物販路擴張の方法	二五
費府萬國博覽會出品内外絹物及其の陳列裝飾方法に關する比較研究	二六
費府萬國博覽會の輪廓	二六
博覽會出品内外絹織物に關する比較研究	二六
博覽會出品内外絹物の陳列裝飾方法に關する比較研究	二六
將來本邦品として輸出の見込ある絹物に關する調査	二六
米國視察雜錄	二七
加奈陀市場に於ける本邦絹織物調査	二七
加奈陀概説	二七
最近三ヶ年に於ける加奈陀の各年總輸出入	二八
加奈陀に於ける絹織物製造業と其需要	二八
加奈陀に於ける絹の市場	二九
本邦絹織物の需要狀況	二九

本邦絹織物と諸外國品との競争狀況	九六
結 末	九六
英國市場に於ける本邦絹織物調査と英國綿業界の通覽	一〇一
英國絹業概班	一〇一
英國輸入の絹織物	一〇四
英國市場に於ける本邦絹織物需要の況狀、羽二重、縮緬、絹紬、富士絹	一一五
英國の新輸入税	一二九
英國綿業界の通覽	一三四
英國綿業の大体	一三四
英國紡績界雜錄	一三三
コールストライキの輪廓	一三四
佛國市場に於ける絹織物調査	一三三
佛國絹業概班	一三三
佛國絹織物用生糸	一三三

里昂絹工業製産概表	一五〇
佛國に於ける絹市場	一五二
本邦絹織物の需要状況	一五三
佛國絹織物輸出入	一五四
佛國の關稅	一六〇
服裝の流行	一六一
獨逸視察一斑	一六五
日獨貿易の大体と本邦絹織物	一六五
獨逸の關稅	一六六
獨逸人氣質	一六七
概括	一七〇
本邦絹織物と歐米品との比較大体	一七二
内外絹業關係商工業者の經營振り	一七三
本邦絹業家に對する希望	一七五

## 緒言

歐米市場に於ける本邦絹織物調査の目的を以て昨年八月七日横濱を出帆し祖國の山河にしばしの別を告げ先づ米國の玄關なる布哇ホノルルに寄港し米國を横斷し加奈陀の一部を巡覽して英國に渡航し次て佛國、白耳義、和蘭を経て獨逸に入り瓊土利を通過して伊國を通覽し瑞西を過ぎ再び佛國に遊び里昂に滞在して越年し旅中特に斷腸の思ある諒關の春を迎へ一月八日馬耳塞を後に印度洋を廻航し二月十四日別項旅程の通り約半歳餘の旅を終り無事歸朝することを得たり其間足跡を印すること十ヶ國陸路一萬二千海路一萬八千旅程三萬哩に亘ると雖も概して通過的調査に過ぎず加ふるに淺學短才皮相的に終り核心に觸ること能はざるを恥づ然れども内外官民間下並に諸君の懇切なる援助と本邦絹業界の背景とに因り豫定の巡遊を遂げ辛ふして使命の幾分を果したるは先づ卷頭に於て滿腔の誠意を以て深く厚く感謝の意を表する所なり



此小冊子中載する所は歐米歴遊中に見聞せる資料を基礎とし尙参考書に依り念査せしものなりと雖も統計の如き輸出入國の分一致せざるあり其他時に或は矛盾誤謬内容行文共に萬遺憾なきを保じ難きは竊に之を憂ふ且つ歸來直に本書の起稿に筆を染めしが山積せる公私の事務は同時に身邊に蟬集し心ならずも日一日を暮らし花の春もいつしか夢の間に過ぎて脱稿遷延漸く今日に及ぶ

昭和二年六月下旬

福井商業會議所副會頭 安本吉次郎  
 福井縣工業試驗場々長 岩下龍太郎

歐米視察旅程概覽 (自大正十五年八月四日 至昭和二年二月十四日)

月日	出時	場發所	到時	場着所	巨離(哩)	巨離の計	備考
八四	後午 五、〇〇	福井	前午 八、二〇	横濱	三三	三三	汽車
八五	後午 二、〇〇	横濱	前午 九、〇〇	布哇	三九五	三七〇	大汽洋丸船
八七	前午 九、〇〇	布哇	前午 六、〇〇	桑港	二〇九五	五八二五	大汽洋丸船
八六	前午 九、〇〇	リツチモンド	後午 二、三〇	スタツクトン	約八〇	五、九〇五	汽車
八三	前午 二、四〇	スタツクトン	後午 六、二〇	ヨセミテ	約二〇七	六一二二	汽車
八二	前午 七、一五	ヨセミテ	後午 四、二〇	スタツクトン	約二〇七	六、三三九	汽車
八一	前午 八、〇〇	スタツクトン	後午 一〇、二〇	リツチモンド	約八〇	六、三九九	汽車
八四	前午 八、二六						
八五	前午 八、二七						
八六	前午 八、二八						
八七	前午 八、二九						
八八	前午 八、三〇						



月日	時	場	所	時	場	所	巨離(哩)	巨離の計	備考
二、三	後午	七、〇〇	アマステルダム	前午	七、六〇	伯林	四、五	一七、四〇	汽車
二、三	後午	四、〇〇	ヘーグ	後午	五、〇〇	アマステルダム	七	一七、七〇	汽車
二、三	後午	一、〇〇	ブラッセル	後午	四、四〇	ヘーグ	一、三	一六、九〇	汽車
二、三	後午	二、〇〇	ブラッセル	後午	四、四〇	ブラッセル	五	一六、八五	汽車
二、六	前午	二、〇〇	巴里	後午	五、三〇	ブラッセル	一、二	一六、八〇	汽車
二、九	前午	一〇、四〇	ロンドン	後午	五、四〇	巴里	二、四	一六、六八	汽船
二、八迄	後午	四、五〇	リーグ	後午	一〇、〇〇	ロンドン	一、六	一六、三〇	汽車
二、五	前午	九、一五	マンチエスター	前午	一〇、四〇	リーグ	三	一六、二二	汽車
二、四	後午	一、一〇	リーグ	後午	二、四〇	マンチエスター	四、九	一六、一三	汽車
二、三	後午	三、〇〇	マンチエスター	後午	二、〇〇	リーグ	四、九	一六、〇〇	汽車
二、三	後午	二、〇〇	リヴァール	後午	二、四〇	マンチエスター	三、三	一五、四〇	汽車

月日	時	場	所	時	場	所	巨離(哩)	巨離の計	備考
二、三	前午	八、三〇	マニチエスイー	前午	九、三〇	リヴァール	三	一六、〇〇	汽往復(自動車)
二、三	前午	一〇、三〇	ロンドン	後午	二、三〇頃	マンチエスター	三	一五、六六	汽往復(自動車)
二、三	前午	九、〇〇	サウザンプトン	前午	二、〇〇	ロンドン	六	一五、四六	汽車
二、三	後午	六、三〇	シャーパーク港	後午	二、〇〇	サウザンプトン	八	一五、六〇	汽船
二、三	前午	一〇、〇〇	ニューヨーク	後午	五、〇〇	シャーパーク港	三〇、九	一五、五七	汽船
二、三迄	後午	四、〇〇	ワシントン	後午	九、〇〇	ニューヨーク	三、三	二、四九六	汽船
二、七	前午	八、三〇	ファイラデルフィヤ	前午	二、三〇	ワシントン	二、四	二、二七〇	汽車
二、三迄	前午	一〇、〇〇	ニューヨーク	正午		ファイラデルフィヤ	九、二	二、二三三	汽車



月日	時	場	所	時	場	所	巨離(哩)	巨離の計	備考
三、三、五	前午	七、〇〇	ウ井ーン	後午	二、〇〇	ガエニス	三五七	一九、〇八	汽 在
三、三、六	前午	七、〇〇	ガエニス	後午	八、〇〇	ローマ	三六四	一九、四七	汽 在
三、三、七	後午	二、〇〇	ローマ	後午	七、三〇	ネーブルス	一六三	一九、〇四	汽 在
三、三、八	後午	二、〇〇	ネーブルス	後午	八、三〇	ミラン	三六〇	二〇、〇四	汽 在
三、三、九	前午	九、〇〇	ミラン	後午	四、三〇	ルサン	一七二	二〇、一六	汽 在
三、三、四	前午	八、三〇	ルサン	前午	二、一五	ウインターツール	約 七	二〇、二六	汽 在
三、三、五	前午	二、〇〇	ウインターツール	後午	三、〇〇	ツーリツヒ	約 三	二〇、三九	汽 在
三、三、六	前午	二、四〇	ツーリツヒ	後午	一、四七	バルン	六	二〇、三九	汽 在
三、三、七	前午	一〇、五〇	バルン	後午	一、二〇	シエネヴ	五〇	二〇、四九	汽 在
三、三、八	前午	二、三〇	シエネヴ	後午	三、三〇	リオン	五五	二〇、五四	汽 在
三、三、九	前午	二、三〇	リオン	後午	三、三〇	リオン	五五	二〇、五四	汽 在

月日	時	場	所	時	場	所	巨離(哩)	巨離の計	備考
三、三、三	後午	四、五〇	伯林	後午	六、〇〇	ウ井ーン	二九〇	一八、七二	汽 在
三、三、四	後午	四、五〇	伯林	後午	六、三〇	ウ井ーン	二九三	一八、四一	汽 在
三、三、五	前午	二、三〇	ケルン	後午	一、三〇	ハーヴーシ	一七四	一八、二〇	汽 在
三、三、六	前午	八、五〇	ケルン	後午	一、〇〇	ケルン	四三	一八、〇三	汽 在
三、三、七	前午	九、二〇	クレズルド	後午	二、〇六	アーヘン	五〇	一七、九三	汽 在
三、三、八	後午	二、三〇	アーヘン	後午	七、五〇	クレヘルド	三	一七、九三	汽 在
三、三、九	後午	六、四〇	エルバーヘルド	後午	三、〇〇	エルバーヘルド	二四八	一七、六七	汽 在
三、四、〇	前午	二、〇〇	ハンボルグ	後午	四、五〇	ハンボルグ	一七	一七、五九	汽 在
三、四、一	後午	二、三〇	伯林	後午	四、五〇	ハンボルグ	一七	一七、五九	汽 在

二、一四	前午 五、〇〇	上海	早朝	神戶	七〇	三〇、七〇	汽船
二、一三	正午	香港	前午 六、〇〇	上海	八〇	三〇、二〇	汽船
二、一〇	後午 四、〇〇	シンガポール	前午 十、〇〇	香港	一、四〇	二九、二五	汽船

月日	時	場	所	時	場	所	巨離(哩)	巨離の計	備考
一、一四	前午 一〇、一五	リカン		後午 三、一五	マルセーユ		二七	二〇、七四	汽車
一、一三	前午 一〇、〇〇	マルセーユ		後午 二、〇〇	ニース		一四	二〇、八二	汽車
一、一六	正午	ニース		後午 五、〇〇	マルセーユ		一四	二一、〇三	汽車 モナコ往復
一、一七	後午 六、〇〇	マルセーユ		前午 八、〇〇	ノーブルス		四六	二一、四八	汽船
一、一四	後午 五、三〇	ノーブルス		前午 六、〇〇	ポートセツト		一、〇〇	三、五三	汽船
一、一四	前午 八、〇〇	ポートセツト		後午 二、四〇	カイロ		一四	三、七七	汽車
一、一四	後午 六、〇〇	ステーション		後午 二、〇〇	ステーション		一五	三、八〇	汽車
一、一五	前午 二、〇〇	スエス		後午 三、〇〇	コロンボ		三、〇〇	三六、二〇	汽船
一、一六	前午 七、三〇	コロンボ		前午 二、〇〇	シンガポール		一、五七	二七、八三	汽船

米國市場に於ける  
—本邦絹織物調査—

第一章 緒言	1
第二章 米國市場の概況	10
第三章 米國市場に於ける本邦絹織物の調査	25
第四章 米國市場に於ける本邦絹織物の競争力	45
第五章 米國市場に於ける本邦絹織物の将来	65
第六章 結論	85
附録	95
索引	105
参考文献	115

## 米國市場に於ける本邦絹織物調査

### 米國に於ける絹織物製産の概況

#### 米國絹織物の産額と原糸

米國に於ける総織物及其製品の年産額は千九百二十一年に於て六十九億六千三百萬弗にして千九百廿三年には九十四億八千七百萬弗に増進し實に廿五億二千四百萬弗一ヶ年平均十二億六千二百萬弗の増加なり今千九百廿三年米國總製造品の價額約六百〇五億弗に對し織物及其製品の産額九十四億八千七百萬弗の歩合を求むれば一割五分六厘強に相當す更に織物及其製品に關する數字を表示すれば次の如し（金額單位千弗）

年 別	工 場 數	平 日 均 給 數	日 給 料 者	材 料 價 額	製 品 價 額
一九三三	三、七六〇	一、五〇、八六七	一、四七三、二九九	三、八四、五〇三	六、六三、八六六
一九三二	三、七九七	一、七九、四四四	一、七四八、〇六九	五、四〇八、四四四	九、四七、一八四

右の表中千九百廿三年分の製品價額は材料價額に對し十七割五分餘にして一工場當り三十五萬四千弗日給者一人一ヶ年當り五千四百廿七弗となる

備考 少しく古き統計なれども參考の爲大正十一年(一九二二年)本邦産染織物一戸一臺一人當り年製産價額を表示すること左の如し

一戸、一臺、一人、當り年製産價額

産 額	營業戸數	一戸當	機 臺 數	一臺當	職 工	一 人 當
綿織物 三九,〇三六,九九四	二,六八六	五,四八八	三三三,五八六	一,六六六	三三六,七六四	一,八六六
絹及交織物 五五,六四二,二八七	二,四五六	二二,四四二	二四四,八八三	一,九五五	二七〇,五九〇	一,九六五
麻及交織物 二九,九三三,九三三	二五,九八三	一,一五二	三二四,八六八	八五八	三六,八五八	七〇〇
毛及交織物 一三,四七五,五二八	七三四	一八五,九三三	一八,四七七	七,三五〇	四〇,二三三	三,一九三
特殊織物 二九,八三三,四〇〇	一,二五五	二三,七三三	二〇,八四八	二,七〇〇	二二,六六七	二,三五五
晒 六,七四八,〇四一	八八九	七,五九一			五,四八二	一,三三三
染 物 一三,八三三,八五五	一八,三三三	六,六三四			五,四〇〇	二,三三五

尙米國織物工業の或品種別に付其年産價額を摘録すれば次表の如し (單位千弗)

種 別	千九百廿一年	千九百廿三年
敷物類	107,860	197,871
綿製品	1,110,171	1,010,171
編織物	634,073	848,177
毛織物	755,553	1,031,557
絹織物	52,448	76,333
計	3,477,227	4,881,680

千九百廿三年の米國絹織物の産額七億六千萬弗中主要なるは廣巾の絹物にして其價格は五億弗以上に達す試に之を世界の絹業地として古來名聲を轟かしたる里昂千九百廿五年の四十三億法と世界生糸の主産國たる本邦千九百廿二年の絹及交織物産額五億圓とを比較對照するときは米國絹業の長大足の進歩に驚かざるを得ず米國は戰前即ち千九百十四年於て二億五千四百萬弗を産出し其後十年ならずして三倍に達し全然原糸は



輸入に待つて尙且つ全世界生糸の約三分の二を消化するといふに至ては今更ながら異数の進展といはざるを得ず米國多年の宿望たる養蠶製糸を自國內に振興すべしとの企圖は今尙辛抱強く畫策を怠ることなしと雖も其富力を以てするも未だ實現する運に至らずしかも僅々十餘年前に生れたる米國人絹は世界斯界を風靡し約三分の一の巨額を産するの魔術的發達を遂げたり千九百廿三年の統計に據れば自國産三千五百四十萬封度に對し歐洲産四百萬封度を輸入し計三千九百四十萬封度中五百九十二萬封度即ち總高の一割五分を絹織物に使用する有様なり最近の米國の人絹製産及輸入高は次表の通り

米國人絹製産高及輸入高

年 別	製 産 高		輸 入 高	
	數量 (千封度)	價 額 (千 弗)	數量 (千封度)	價 額 (千 弗)
一九二六	六、八五五	一〇一、八八八	一〇、一三三	九、〇二五
一九二五	五、二四〇	七、五九元	七、〇〇〇	八、一七〇

備考 一九二六年世界人絹の産額を二億封度と見込めは米國は優に其三分の一を占む又生糸及紡績絹糸輸入は左の如し

米國生糸及紡績絹糸輸入高

年 別	生 糸		紡 績 絹 糸	
	數量 (千封度)	價 額 (千 弗)	數量 (千封度)	價 額 (千 弗)
一九〇〇	一一、二五九	四、四五九	二、三三六	三、五五五
一九一三	二六、〇四九	八、二一七	三、四一七	六、〇七二
一九二〇	四七、二二七	四七、六三九	三、三三六	一五、〇一五
一九二四	四六、七二二	三五、〇八八	一、七四四	四、四五六
一九二五	五九、二二七	三五、二四九	一、〇一四	三、七〇五

米國絹織物の製産區域

米國の絹織物地帯は絹物消化の中心たる紐育に近きバタソンを有すにニュージャヤーン一、ペンシルヴァニア、ニューヨークの三州が主要なる地方なり特にバタソンは人口



十三萬五千を有し事々物々絹業に關係せざるものなく其空氣の充満せる市街にして機業圏はホドソン河畔ユニオンシチーにも及ぶものあり尙絹織物工業の外染色工業も亦益進展すべき前途とありと望を屬せらる千九百廿三年には總工場數約千六百にして内四割七分はニュージャージー州に又二割八分はペンシルヴァニア州に在る割合なりしが現在に於てはバターソンに本工場を有するものかペンシルヴァニア州に支工場を設置ししかも支工場により多くの力織機を設備する傾向となり其力織機數分布の割合の如きバターソン地方に四分ペンシルヴァニアに六分の割合となる狀況なる由を耳にせり既設の如く米國の絹業は東海岸地方が其主産地なるが茲に興味ある將來を有するは一絹織物工場に過ぎざれども西海岸ロースアンゼルス附近自動車約一時間行程なるハモサビーチにゴールテンステートシルクミルと稱する工場の近く生れ出てたる一事なり同工場は五十臺の力織機を設備し佛蘭西縮緬を製織し撚糸工程より精練染氣色整理迄も兼營し製品はロースアンゼルスの百貨店等へ供給しつつあり創業日尙淺きも將來

擴張の計畫中に在るもの如し羅府を中心とせる海岸は年額約一億圓の織物の需要あるへしとまで稱せられ外國製織物の羅府へ輸入せらるるは三十三萬圓にして其他は主として東海岸より移入せられ外國織物三十三萬圓の内佛國製は其半本邦製は三分の一なりと聞く羅府は近年著しく進展を遂げ人口の如き數年前に比し二倍となり既に百二十萬を算し附近を合せて優に百五十萬、活動フィルム、オレンチ石油の三大物産を有し富豪の別莊地たる此羅府を背景として絹織物工業が勃興するや否やは留意すべき問題にして隨て前記工場の設立は西海岸に於て注目の標的たるが如し

使用機械器具の概要 視察せし絹織物工場は主として縮緬工場にて數も少なく且つ其大体を通覽せしに過ぎざれば適當なる判断を下し難しと雖も見聞せる範圍内にては瑞西製の織機などを使用するものなきにあらざれども多くは自國製の力織機及び補助工程機械を使用し居るが如し自信力強く何事も世界第一を以て自ら任する米國にては左もあるべし又可及的人力を省き機械力の應用により能率を増進せんとする米國に於て

は珍らしからの所なるも自動箴通機を使用して經糸の箴通しを爲し經繫機に依り簡便に經繫を爲すなど面白く感したり

撚糸機械は所謂米國式にして引揃へながら撚合せを行ふもの多く十二本引揃へながら撚合せの作業を爲すをも目撃せり

糊附機にして目に觸れたるものは一本附にして本邦にて現在生織物の原糸に糊付を行ひつつある様式と大同小異なり

力織機も亦シロムトン、イーストウートの如き米國製のもの多く力織機總數は聞く所に依れば約十二万臺と稱せらる海外商報第四百十六號の紙上大正十五年一月十六日付在リヴァプール玉木領事報告英國絹業概況の記事中に見へたる絹織物力織機臺數は

英國	六七千臺	佛國	五萬二千臺
獨逸	三萬二千臺	瑞西	一萬四千臺
伊國	二萬一千臺	米國	八萬七千臺

とあり右の數字に依れば歐米主要絹業國力織機臺數は約廿一萬三千臺となり米國の夫は前記の如く八萬七千臺なり昨年（大正十五年）十月紉育にて耳にせし所は所謂稱せらるる數字なるか約十二萬臺の多きに達し内五十四吋幅の絹織物を織り得るものは概數三四千臺ならんと推測せらる五十四吋の如き廣幅織物か一時流行の機運に向ひ隨て廣幅力織機の設備を爲せし向ありしが庫幅物の普及豫想の如くならざりしが爲自然廣幅力織機の増設も頓挫せるなり而して廣幅織物の一時製造せられしは仕立屋の都合より來りしものなりといふ即ち仕立屋は五十四吋幅の毛織物を取扱ふの故に依り絹布も亦同一の廣幅なれば之が裁斷其他にも便宜あるに起因す四十吋幅の絹織物ば衣物の生地として二碼半程の長さを要するに五十四吋物なれば一碼半位にて事足るを以て仕立屋は廣幅物を推奨し其製産を見るに至りしが廣く需要者の嗜好を唆ること能はず中絶の止むなきに終る故に廣幅織機も亦其數多きに上らざりしなり

生織物の精練設備 に就ては機械力萬能主義なる米國なれば一新方面を開くものある

へしと豫想せしに幸か不幸か生等の見聞せる範圍内にては本邦従来の吊練式が外人の職工により行はるる状態を見たるのみ強ひて其の差異を求むれば我は竹の棒を用ひ彼は木の夫によりたる位に過ぎず其手工的作業振りは皮相に評すれば機敏にあらずと雖も善意に解釋すれば願ふる丁寧親切なりとす

### 本邦輸出絹織物の概況

商工省の調査に據れば明治元年既に五百餘圓の輸出絹織物ありて明治初年より絹織物の輸出ありと雖も本邦輸出絹織物の注目に値するに至りしは羽二重の輸出せられし以來にして明治二十年の頃より稍盛況に向ひしなり其度印度向タツタの類も其品種中に加はりしか著しく斯業に一新紀元を劃せしは大正五年の頃にして縮緬絹紬等か擡頭の時に在りとす此頃までは輸出羽二重即ち輸出絹織物にして羽二重か代名詞の如くなりしか茲に重なる品種として縮緬絹紬を加へ更に富士絹も亦一方の覇として目せらるゝに至る大体の趨勢此の如くにして進展し輸出先に於ても品程別金額の多寡に於ても幾多

の變遷を経へたり大正十四年(千九百廿五年)の統計によれば輸出絹織物の総輸出額一億千六百萬圓にして主なる輸出先及金額左の如し

國 別	金 額 (單位百萬圓)	品 種
濠 洲	二 四 百 萬 圓	富士絹(縮) 羽二重
米 國	二 一 同	絹 紬(縮) 羽二重
英 國	一 六 同	羽二重(縮) 富士絹
印 度(英領)	一 二 同	羽二重、縮 緬
加 奈 陀	一 〇 同	縮緬、富士絹(絹) 羽二重 紬
佛 國	六 同	羽二重
亞弗利加	六 同	富士絹、縮 緬

備考 百萬圓未滿は切棄とし概數を示し品種は重なるものを上位におきて記入せり  
大正十四年本邦輸出絹織物製産及輸出



品種別	大正十四年製産額 (單位千圓)		大正十四年輸出額 (單位千圓)	
	輸出額	歩合	輸出額	歩合
羽二重類	4,076		3,683	
甲斐絹	490		106	
繻子	4,628		8,334	
練生絹	6,133		741	
琥珀及タツタ	305		741	
縮緬及ツヨセツト	1,906		2,121	
壁	1,928		2,121	
絨絹	1,264		1,264	
薄絹	3,154		5,079	
絹紬	4,788		5,079	
富士絹	1,877		1,293	
シフオン	1,877		1,293	
其他	1,563		2,644	
計	31,633		36,644	

本邦輸出絹織物の重なる輸出先分布表

(輸出價額による) (單位萬圓)

國別	羽二重		縮緬及壁		繻子		琥珀		絹		紬		富士絹	
	輸出額	歩合	輸出額	歩合	輸出額	歩合	輸出額	歩合	輸出額	歩合	輸出額	歩合	輸出額	歩合
支那	2		6		5		1		1		2		2	
英領印度	400	22%	275	15%	23	39%	5	86%	3		188		2	
蘭領印度	61		3		27		5		2		25		2	
英國	1,077	33%	88		6		1		140		399		1	
佛國	658	20%	16		6		1		3		15		1	
米國	53	16%	10		27	33%	1		1,151	77%	51		1	
加奈陀	21		107	23%	2		1		6		395		1	
亞爾然丁	14		5		1		1		6		1		1	
濠洲	18		5		3		1		9		178		1	
新西蘭	9		3		1		1		1		7		1	

計及 ナタル	喜望 民地	殖民 地峽	海峽 殖民地
三、二七	三	四	三
一、七三	六	四	三
六、九	一	四	三
三	一	四	三
一、四七	一	四	三
三、二六	三	四	三
一〇〇	三	四	三
一〇〇	三	四	三

備考 本節の統計は商工省工務局調査に係る輸出絹織物業事情により抄録或は之により算出せるもの

### 米國に輸入せらるゝ絹織物

前節に略説せしか如く戦後に於ける米國の絹業界は長大足の進展を遂げ年々原料生糸の輸入量は遞加し絹織物の製産額又隨て増進せり而して製産せる織物は主として之を内地消費に充て一面に於ては國產絹物保護の爲に千九百廿二年各種織物に從價五割五分の關稅を課せしにより絹織物の輸入は自然減少せざるを得ざる状態とは爲れり今參考の爲米國絹織物輸入統計表を次に掲げん

### 米國絹織物及其製品輸入表 (單位千弗)

年次	金額
一九〇〇	三一、一二九
一九一三	二七、五九〇
一九二〇	八七、七二九
一九二四	四〇、八三五
一九二五	三六、七七九

輸入最高

### 米國輸入絹織物佛、瑞、日、支四ヶ國分比較表

國別	一九二四年 (弗)	一九二五年 (弗)
國別	一九二四年 (弗)	一九二五年 (弗)
佛	九、一六、一三〇	八、七九、〇五元
瑞	一、〇六、一七七	一、九三、六四四
本邦	九、一四、七七一	八、八四、〇四〇

支那計

八八,三六  
三〇,九〇,四六六

一,二七,九七  
三〇,九二,六六

米國輸入絹織物仕出國佛、瑞西、日、支及品種別表

品種別	佛蘭西より輸入	
	一九二四年	一九二五年
飾絹 (無税)	八元	八〇
廣巾絹織物 (起毛織物を除く)	二,六六三	一四,〇〇〇
生織物	二四,二〇五	一六,五元
染織物	二四,四九七	二,五五,九六
交織物	三,八三六	三,八,九六
ブラシ、天鵞絨、及シニール	三六,一五五	一,八五,四九七
天鵞絨或ブラツシシリボン	七,七四	四五,七七
一二吋巾迄のリボン	六二,九四一	三二,九六九

品種別	佛蘭西より輸入	
	一九二四年	一九二五年
巾狭織物	三,七六三	三三,一六五
絹手巾	一六,七五	五五,八六七
刺繡或はレース	九,六四	三六,一〇一
刺繡或はレースに在らざるもの	三,七〇	三,七〇
絹レース、刺繡等	一七,〇三三	一,一〇,八,一四〇
ベール	三三,五九四	五三,六三三
網	五,四元	二四,八六
刺繡	一〇,七六八	六七,七九
其他	一〇,八八	三三,二五一
絹製品	一五,三三七	六四,六八
計	九,一七,一三〇	八,七九,〇三九



品種別	瑞西				リ					
	封	度	九	二						
篩絹 (無税) 廣巾絹織物 (起毛織物を除く) 生織物 染織物 交織物 プラシ、天鷲絨及シニール 天鷲絨或ブラツシリボン 一、二吋巾迄のリボン 巾 袂 織物 絹 手 巾 刺繡或はレース 刺繡或はレースに在らざるもの 絹レース刺繡等	一七、五九九	四九、七三三	二、七六七	五〇六、八七八	封	度	九	二	五	年
	一四、八三三	八九、〇〇八	二、七六六	一八、八九七	封	度	九	二	五	年
	九九、五三三	六七、六四四	一五、四九八	一、〇九七、八六五	封	度	九	二	五	年
	二七、〇二四	八二、一五七	二八、二五七	一〇四、六四〇	封	度	九	二	五	年
	四、五六九	四七、四八七	七、六五	八、六五五	封	度	九	二	五	年
	六、四二二	七、六八七	七、九六六	八七、八六二	封	度	九	二	五	年
	二、八七一	一八、六八六	四、七七八	三、二〇〇	封	度	九	二	五	年
	一、三、九四三	二、四、八四九	六、六五〇	一四、八七	封	度	九	二	五	年
	七、一七九	二、三、七二二	三、〇八二	三、七三三	封	度	九	二	五	年
	一、三、四四五	二、三、〇八八	一、三、九	一、五、四〇	封	度	九	二	五	年

品種別	本邦				リ					
	封	度	九	二						
篩絹 (無税) 廣巾絹織物 (起毛織物を除く) 生織物 染織物 交織物	一、三、四四五	二、三、〇八八	一、三、九	一、五、四〇	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年
	六二	一、六九七	—	—	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年
	二九	二、四、二八	三、三三	二、三、四一	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年
	一、九四四	一、四、九二	三、三三	四、四九四	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年
	二、三、九	二、二、七	一、四、七	二、三、四一	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年
	一、四、三	八、六四三	一、三、九	一〇、五〇〇	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年
	—	一、八、六四三	—	—	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年
	—	一、六、五〇七	—	—	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年
	—	三、四、四〇一	—	—	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年
	—	七、三、四八、五七	—	—	封	度 <td>九</td> <td>二</td> <td>五</td> <td>年</td>	九	二	五	年

品種別	支那		り		輸入	
	封	度	封	度	封	度
プラシ、天鷲絨及シニール						
天鷲絨或プラツシリボン						
一二吋巾迄のリボン						
巾 狭織物						
絹 手巾						
刺繡或はレース						
刺繡或はレースに在らざるもの						
絹レース刺繡等						
レール						
網						
刺繡						
其他						
絹製品						
計						

品種別	支那		り		輸入	
	封	度	封	度	封	度
節絹 (無税)						
廣幅絹織物 (起毛織物を除く)						
生織物						
染織物						
交織物						
ブラシ、天鷲絨及シニール						
天鷲絨或プラツシリボン						
一二吋巾迄のリボン						
幅狭織物						
絹手幅						
刺繡或はレース						
刺繡或はレースに在らざるもの						
絹レース刺繡等						

レ	ス	五、五九六	六、〇八七	一、一九〇	一九、八五五
ベ	ル	一	一	五五	四、八四五
網	織	二五、三四	一、九六五	七五七	八、六三三
刺	他	七〇一	四、七五	四七二	一八、〇九〇
其	品	八、五八	三、三三九	七、八四	三〇、七五
精	製		八八、三八		三〇、四一
計					一、七、九七五

米國輸入高級綿織物

大正十五年十一月十六日米國商務省の公表せし數字に據れば十月中合衆國主要輸入五港ボストン、紐育、費府、シカゴ及び桑港の綿布輸入額は前月に比し一、四八一、〇六一平方碼價額に於て三七八、一七六弗の増加を示せり  
 昨年の十月に比すれば輸入額は二、七一〇、二四一平方碼、價額に於て六二七、二九一

弗減少せり一九二六年十月の總輸入額は三、七八一、九九八平方碼其價一、〇〇二、九二一弗に上る

十月に終る十ヶ月の輸入累計は一九二五年間期間の三八、〇〇六、八一三平方碼其價額一九、三四五、四二四弗に對し四四、二四六、三三平方碼其價額二、二七三、六八八弗に達す  
 十月中此等五港を通して輸入されし綿布を昨年同月及今年前月と比較せし全省の品種別詳細は次の如し(單位一千平方碼)

品 種	一九二五年 十一月	一九二六年 九月	一九二六年 十一月
ポプリン類及シャツ地	四、〇〇一	四、九七	八、三六
無晒	一、四九	一、七	二、〇四
晒	三、〇一	三、八六	六、三
模様物	三、七五三	九、三三	一、九七一
小			
朱子			
計			

無晒	一四五	二八二	二六
晒	五	五	三
模様物	三六	七九	三
小計	一八六	三六五	一九
朱子 (八枚或以上)			
無晒	三三	一五	二
晒	三	六	三
模様物	三三	五二	一〇九
小計	二四八	七三	二〇六
ローン類及細物綿布			
無晒	九九九	二〇九	五四
晒	一四〇	三二	三九
模様物 (染或は變織)	二六三	二七	一八五
縮 (平或は變物)	一〇三	八	四〇
ホイール (平或は變物)	六〇〇	一〇	一三

織出模様物 (スツイベル或はラバット物を除く)	四〇	一〇九	二五
ギンガム (二色或以上)	一〇三	一五	二五
其他	一四	一	八
小計	二一九四	六三	一三九七
合計	六、四八	二、五三	三、七三

### 米國市場に於ける本邦絹織物の需要状況

米國に輸入せらるゝ本邦輸出絹織物

絹紬富士絹縮緬羽二重の四つが重要な米國輸出の本邦絹織物なり絹紬は本邦總輸出額(重なる輸出先以下本節之に同じ)千四百九十七萬圓の七割七分を占め絹縮輸出先の第一位に在り羽二重は總輸出額三千百六十七萬圓の一割六分にして英國の三割二分



佛國の二割に對し第三位たり縮緬は總輸出額千七百廿三萬圓の八分にして濠洲の三割加奈陀の二割三分英領印度の一割五分に比すれば第四位に在り富士絹に至りては總輸出額三千百六十七萬圓の二分に達せず濠洲の五割二分を輸入するに對し第六の末位に在るのみ以上は千九百廿五年本邦輸出絹織物品別につき重なる輸出先の歩合を求め比較せしものなり（本邦輸出絹織物の重なる輸出先分布表參照）

一億有餘の人口を有し十五億圓の絹織物の製産ある米國に對し二千萬圓の本邦絹織物が輸出せらるるものにして之を米國産額に對し歩合を求むれば僅に一分四厘、一億の人口にて之を消費すると假定せば平均一人宛邦貨廿一錢に過ぎず購買力盛なる米國にして餘りに其少額なるに驚かざるを得ず但し本邦絹紬が米國市場に於て代表的位置を保つは稍人意を強ふるに足る

米國絹織物の市場としては紐育が其中心なること贅言を俟たざる所なり茲に主として紐育に於ける本邦絹織物の需要狀況を記述せん

**羽二重** 從來羽二重は重に衣物の裏地に用ひらる戰時中其賣行の増加せるは米國婦人が羽二重製 *Waist coat* (胴衣) を使用する流行に遷りしが爲なり然るに近來は嗜好の變遷に因り *Onepiece dress* 及び上下一枚の衣物が流行し *Waist coat* 着用 of 要なく多く裏なしとなり偶裏を付くるとするも羽二重を用ひず縮緬を用ひることとなり表の材料は縮緬類が大勢力を有し紐育に於ける銀行商店の如き女事務員の如き此種のドレスにて菊などの大なる花紋の飛模様あるものを纏ひ居るなど縮緬が一般に流行せり斯様に *One piece dress* の流行は羽二重に大なる影響を與へウエーコート其物として用途なく衣物の裏地としても亦需要少なき状態となれり但し一部裏地として需要せらるるも羽二重なきにあらずと雖も其場合多からず

比較的新規なる羽二重の用途は雨具地應用にして輕目羽二重を白の儘輸入し彼地にて染色及防水の加工を爲し雨具地又は防水布となす之は紐育のみならず倫敦にても需要あり此の如き雨具用生地としての羽二重は織段の欠点なきを必要とすること電燈のシ

ユード用生地と同様なり防水加工を爲すときは少し位の織段は差支なきかの如く思はるれども實際上頗る目立つものなれば此種の欠点を除くに意を用ひること肝要なりとす

羽二重需要減退の原因として有力なる一は米國流行界の變遷にして其影響を蒙ること少なからざるものあり

**縮緬** 現時の花形とも謂ふべきは縮緬にして米國自國製及歐洲製品が光彩を放ちて陳列窓を飾り婦女子注目の標的となり重に衣物生地又は既製服として盛に需要せらるゝ有様なり本邦縮緬の米國輸出は我輸出縮緬總金額の八分を占むるに過ぎずして米國市場にては數に於ても歐米の夫と伍して顧客に見ゆるの域に達せざるを憾む然れども縮緬類其物は洋の東西を問はず一般に婦人の嗜好に適する性質を有するものなれば色相柄行縮立等の流行變遷につき要領を會得することを得ば望を將來に屬し難きにあらず

**富士絹** 本邦輸出富士絹は濠洲加奈陀英國等の如き英人側に主として愛用せらるるも

のにして米國にては其需要前記諸國の比にあらずと雖も寢衣に少數ながら需要あり現時富士絹は大部分即ち五割以上濠洲へ輸出せらるるものにして二十九吋巾を普通とし同國にては之が實用上不便なきが如き模様なるを以て本邦内の産地にては特別の注文にあらざる限り二十九吋巾に製織するを常とす隨て米國へ輸出する富士絹も亦同様なり然るに本邦某輸入商の説に據れば二十九吋巾にては應用範圍狭く限定せられ下着物のみなりと雖も之を三十二吋巾として製織せばドレス兼用にして下着向に用ひらるる場合に餘分の小切の出るときは之を他に利用することも出來得べく必ずしも不經濟ともならざるへし米國向として二十九吋物を三十二吋巾となし之が用途の範圍を擴大せば富士絹の販路開拓上一層有利ならんとの説を耳にせり同様の意見は加奈陀の某邦商よりも之を聞けり要するに歸着する所は價格問題なるべきも兎に角講究すべき事項なりと茲に之を記す

**絹紬** 本邦輸出絹紬の七割以上を消化する米國は實に上得意先と謂ふべし絹紬は輸入



當初手巾生地地使用せられ其後ワイシャツ地となりしが現在にては究掛地女兒の衣物婦人の家庭着などが主なる用途なり其價格低廉にして品質耐久性に富む点に於て歡迎せられ實用品として重寶がられ賣行良好なる商品なりとす多くは天然色のクリーム其儘にて實用に供すれども之に二三色位の捺染を施し飛模様など濃艶に過ぎざる程度の加工をなし服地とするか我は淡紅色の如き無地染として服地或は窓掛地に使用する向あれども前記の如く大部分は染色加工を施すことなく天然色を利用す廉價にて外商の手に入る爲にや百貨店の如き卸賣碼五十仙の絹紬を四十九仙位にて販買し以て顧客を誘致する一策と爲すものあり何れにもせよ現今本邦輸出絹織物中米國市場に於ける巨額は實に絹紬にして從來其位置を持續せる原因の一は目付か十二匁に統一せられ賣買兩者間に便益少なからざるが爲なるべしと思惟す既説の如く主なる絹紬の用途としてワイシャツ地を列擧する程度に達せざれども全然之なきにあらず又一時福井地方より特にシャツ地として米國へ輸出せし絹布は相當流行せし時代なりしが現在は綿布が勢

力を占め絹のワイシャツは俳優の一部が之が纏ふに過ぎざる有様にて凋落の境遇に在り綿布のワイシャツには米國製生地と英國製とあり米國製品は紐育にて普通小賣一着三弗半位英國製は五弗前後にして價格に相當の差あれども英國製は品質佳良にして手觸よく一見絹布を欺くが如き光澤あり經糸細く密度多くしてラヂウムかと思はるる程なり富士絹はワイシャツ地としての應用如何との質問に對し光澤なきを欠点とすとの答を得たることあり英國製綿布ワイシャツを見るに至つて首肯することを得たり本邦輸出手拭地は十年來面白かりしが昨今は芳しからず又綿、毛、絹などと種々なる材料よりなるハツピーコートは一時的にはあらざるかと桑港某邦商は浩嘆し居れり

## 米國市場に於ける本邦絹織物の

### 諸外國品との競争狀況

羽二重 本邦製内地向羽二重の味が偶米國人の嗜好に投し可成永く需要せられし本邦輸出羽二重も近年減退の止むなき狀勢に遭遇せり廣き意味に於ける之が競争品は縮緬にして内地消費を目的とせる米國製品及歐洲産の縮緬は羽二重の強敵にして流行の變遷とはいひながら羽二重の用途は狭はめられたりと雖も狭き意味に於ける諸外國品の競争品としては米國市場に其競争品なきものと如し其競争品なきは喜ぶべき現象よりは寧悲むべき狀況にして羽二重其物を重大視せざるに至りたる結果なりとも考ふることを得べし現在の儘成行に任せ何等の工夫考案を加味せず目新らしき商品とせざる限りは昔日の如き狀態に恢復すること困難なるべし近年米國にて製織せらるゝ生織物にタツプシルクありこは生糸を經とし紡績絹糸を緯として組織せるものにして洗濯に

耐ゆる實用的織物なり此織物は原料より見れば富士絹の競争品とも考ふることを得べく又羽二重の夫とも見ることを得べき中間の織物なり百貨店などの小賣相場は碼一弗三十九仙にして相當の需要あるものと如しタツプシルクの組織の一例を擧ぐれば箒の密度經一寸間九十五枚羽二本通經糸は十八デニール見當二本引揃緯糸は紡績絹糸六十五番の單糸を使用し鯨一寸間の打込数は百五十杼なり此品は紐育の百貨店にて前記價格にて購入せるものなり米國市場に於ける羽二重競争品は大要右の如くなれども歐洲市場に於ては本邦羽二重の競争品あり一は西班牙市場に出づるものにして西班牙のバルセロナに産する輕目羽二重なり約四々見當の輕目を製造せしが波寄りを生し面白からずとて爾後稍重目に移り七々見當のものも製出し關稅により保護せられ日本羽二重相場の高低を見計ひて伸縮自在に製造をなす隨て製産高も不定にして多量にあらずと雖も兎に角西班牙にても少數ながら日本羽二重が製産さるゝことを忘るべからず今假にバルセロナに於ける四半見當の染羽二重三十六吋巾のもの毎米三、一五ペセタとす

れば四十六米（五十碼）の價格は一四五ペセタにして一疋の關稅三十五ペセタを差引  
けば一〇ペセタとなる爲替相場一磅三二ペセタとし換算すれば三磅八志となる染賃  
六志を見込みて差引けば三磅二志即ち六十二志なり故にバルセロナ着六十二志の日本  
羽二重なれば西班牙品と對抗し得る割合なりとす  
前記西班牙西輕目羽二重の小切見本に就て見るに密度鯨一寸百枚立にして本邦製の夫  
と大同小異なるもの如し

本邦羽二重の競争品の他の一は獨逸市場に表はるる同國製の羽二重にして目付は六匁  
見當の輕目なり此品は耳奇麗にして其兩端は恰も刃物にて斷ちたるかと思はるる斗り  
に見ゆ且つ布面平かにて立筋横段なく同國用途の主なる電燈のシェドとしては適當な  
るものなり之を日本羽二重輕目品にして獨逸に輸入せらるるものに比すれば横段なき  
点に於て優ると雖も味の硬きは同國人の喜はざる所なり換言すれば我羽二重は味の軟  
かきが歡迎を受くる所なるも横段は改良されまはしと獨商は物語れり獨逸巡遊中クレ

フェルドにて獨逸製日本羽二重の見本を購入せしに三十六吋物一米の價格三、七五マ  
ーク、四十六米を五十碼として計算すれば一疋の價格百七十二マーク五十之を邦貨に  
換算すれば八十六圓廿五錢（一マークを五十錢として）の割となる現在に於ては斯様な  
狀況なれども一強數といはるを得ず而して獨逸製日本羽二重の原系には黃繭糸を使  
用し居るもの如し蒐集せし見本の一につき研究せしに異様に感じたるは緯糸に加撚  
の形跡あるの一事なりしかも二本引揃のものに加撚せしにあらすして一本宛に一米間  
百五十回程の撚を掛け二本引揃となしたる点なりとす或はサラリとする味を與へんと  
するに在るか製織を容易ならしめんとするに因るか不幸にして未だ其理由を知らず  
因に戦前に於ける獨逸の白羽二重の關稅は百キロ三百マークに過ぎざりしが現在にて  
た三千八百マークとなり約十六倍に近し此從量税を從價税として換算すれば左の如し  
今三十六吋六付の羽二重の重量を二百八十八匁とすれば一疋の税金は約四十一マーク  
なり此羽二重のハンボルク着の價格を假に八十九志とすれば五割に近き税金となる



佛國市場に於ける羽二重の競争品と認めらるるものはトワーズアールと稱せらるるものにして白或は染色加工を施して市場に出づ小賣値段の一例を擧ぐれば三十二吋巾一米にて十七法安物は十二法半見當一法を八錢として之を邦貨に換算すれば一圓三十六錢乃至一圓、一碼當り約一圓廿二錢乃至九十錢となる要するにトワーズアールは富士絹にして蒐集せる二三の見本についていへば箴密度鯨一寸間七十五枚一羽二木通經は百卅五號の絹紡双糸、緯は六十五號の單糸にして日一寸間の打込は百〇八杼乃至百十五杼なりとす

佛國練羽二重の關稅は一キロに付六法の定率なるか之を二十三割の割増とし更に昭和二年一月より其上六割を増加するを以て練羽二重一キロの關稅は $(6 \times 2.3 \times 1.6 = 22.08)$  二二法八サンチームとなる尙輸入の際價格と關稅との和の二分を納入するなど複雑なる定めなれども直接の關稅としては右の如し

縮緬 縮緬類としては内、米國製及外、歐洲品の大數あり現況に徴するに競争といひ

得べき程度にあらすして之と雌雄を決すべく大刀打が出来得ぬとも思はるる程なり斯界に經驗あり老熟せる邦商某氏の說によれば本邦縮緬類が米國市場に於て歐米製品と競争するは不利なり眼を南米ブエノスアイレス邊に注げ此地方の需要は品多しといふにあらざれども紐育市場の格安品を買入るる得意先なり南米向として研究する方寧得策ならんと

富士絹 競争品としては米國製綿の交織物などあれども富士絹其物の需要比較的多からざる爲競争の程度割合に激烈ならざるもの如し羽二重の節に既説せるタツブシルクも觀察のしやうにより富士絹の競争品と考ふることを得れども何れかといへば羽二重に對する競争品なりとす

絹紬 競争品として注目すべきは支那絹紬なり或は支那絹紬の立場より見れば本邦絹紬が競争品たるへし兎に角兩々相對するは日支の絹紬なれども支那絹紬は主として重目物なれば直接に競争するにあらす或は曰く支那絹紬は品質粗惡にして問題にならす



と然れども河南絹紬の如き節多く外觀体裁宜しからざるも喜んで之を需要する向あるに反し本邦絹紬にして節あるか或は織段などの見ゆることあるときは奇麗ならずと批評す蓋し河南絹紬と本邦絹紬との關係は紬と糸織との如きものにあらざるやなど推測す尙取扱商として支那絹紬の取引を喜ぶ一の理由は比較的價格の安定なるに在り故に本邦蠶の罐詰が立値によりて信用を確保せしが如く本邦絹紬も亦此の如く立値を定むること能はざるやの意見を有せし御仁あり一考の要あるべし

米國製、レーヨンと柞蠶との交織物が絹紬の競争品として一時織出され日本絹紬が一碼七十五仙時代に半額以下の三十五仙にて市場に表はれしことなりしが波寄を生ずる欠点ありしが爲遂に悲惨なる末路を遂げたり本邦製の擬絹紬所謂ボンデユットの類は少なからず本邦絹紬の販路を妨げしが今や既に絹紬の名勢を恢復せしは喜ぶべし

英國市場に於ける絹紬の競争品も亦支那絹紬なり其狀態大体米國市場の如くなれども本邦絹紬が英國市場にて支那絹紬と競争するに一大不利なるは兩者關稅に高低の差あ

りて本邦絹紬の方比較的高率を課せらるるに在り一九二五年六月一日實施英國の新輸入税によればゴム質を除かざるもの一封度に付五志三片全部或は一部ゴム質を除きたるものに屬する其他の織物は一封度に付七志九片なり支那絹紬は税率五志三片の部に入り本邦絹紬は其他の織物中に包含せられ七志九片の税率を課せられ縮緬、富士絹、類と同率なり此新税は勿論従價税にあらずして従量税なれば其受くる所の影響は頗ぶる大なるものあり令假に五百十七匁の絹紬なりとし之が税金を算出すれば本邦絹紬の税金は約三十三志、一志五十錢とすれば十六圓五十錢の税金となる此絹紬の價格が二十八圓四十三錢と假定せば五割八分の税金に相當す再言すれば本邦絹紬百匁の税金は約三圓なるに對し支那絹紬百匁の夫は約二圓にして其差額百匁に付一圓となる本邦絹紬が支那絹紬に對し競争上不利なる点實に茲になす

獨逸市場に於ても亦絹紬の同國製競争品あり生等の伯林に於て此一事を耳にするや初めは果して事實なるや否哉を疑ひし程なりしが調査研究せし結果其事實なるを確めた

り産地はライオン地方クレフェルド(ドレスデン方面にも製産ありとか聞く)邊にして産額の如き之を詳にすること能はざりしが柞蠶紡績糸を應用して之を製織す伯林にて蒐集せし三種の見本を表示すれば次の如し

番 號	長 米	價 格 (一米)	卸 小 賣 的 別	概 評
第 一 號	一	ニ、六〇フラン	卸 値	丙
第 二 號	同	ニ、八〇フラン	卸 値	甲
第 三 號	同	三、六〇マーク	小 賣 値	乙

備考 フランは瑞西のフランにてフランの八掛かマークに當るマーク爲替相場亂高下の際フランを標準とせる習慣ありて今尙之によるものあり卸は八分の歩引を爲し小賣値は卸値に三割を加へたるものと見なし比較の便宜上換算して次表に示す

概評は色相其他につき本邦絹紬に類似せる程度を標準とし甲乙丙の順位を付したるなり

番 號	長 一 米 の 價 格 (卸 値)	長 一 碼 の 價 格 (卸 値)
第 一 號	一、五二マーク	一、七三マーク
第 二 號	二、〇六マーク	一、八五マーク
第 三 號	二、五五マーク	二、二九マーク

備考 第三號は小賣値三、六〇マークの卸値を算出し其八分の歩引をなすとせば一米二、五五マークとなる隨て一碼の卸値は二、二九マークなり

獨逸に於ける絹紬の關稅も現在は高率なり即ち百キロに付三千二百マークの割なれば十二付の絹紬一疋の稅金は五百廿八と假定すれば六三、二八マークなり此の如き絹紬のハンボルグ着の價格を六十四志を見込めば殆んど十割の稅金となる

## 米國市場に於ける

### 本邦絹織物販路擴張の方法

首題に就ては近年特に官民相共に苦心焦慮する所にして昨年第一回の試みなる旅商の派遣の如き米國獨立百五十年記念費府萬國博覽會賛同の如き皆其然らざるものなく旅商派遣の企圖は好成績を挙げ本年度に於ても繼續的之が實施を見んとするやに仄聞す誠に斯業發展の爲慶賀に堪ざる所なり抑本邦絹織物販路擴張方法の研究は從來幾多先輩の論議せられ殆んど餘す所なきが如しと雖も心付きたる卑見を左に記述せんとす夫販路擴張の第一歩は先づ製造家が合理的に製産費を低減して良質なる商品を製出し之を需要者に供給するに在り約言すれば所謂良質廉賣主義に基礎を置くべき必要あるは當然なれども一方に於ては商品其物の性質實用上の價值等につき徹底的に之を需要者に周知せしむること肝要なり絹織物に於ても亦然り然るに從來本邦人は謙讓の美總

其度を失し惡慮する傾向ありしが良賣は深く藏めて空しきが如くすの氣風は年々減退する經路を辿り或商品は誇大に廣告せらるるものなきにあらずと雖も絹織物特に輸出絹織物は仕向地に於ける廣告宣傳不十分にして甚しきに至れば内地向は兎に角輸出品には廣告の必要なしとまで誤解するものなきにあらず内地絹織物の廣告宣傳に於ては近時圖案の發達と共に著しき進歩を爲しポスター其他の印刷物にして需要者の購心を唆るに足るものあるに反し輸出絹織物は隨て織れば隨て賣行ものなりと思ふ斗りの体度にて成行に一任に來りしが如し如何に本邦が殆んど絶對的商品に均しき生糸を有し絹織物製造に得意なるにもせよ斯様に超然主義にては販路の擴張は得て望むべからず民間當業者は萬國博覽會などに出品せば能事足れりと爲し皮肉の言辭なれども彼岸の火の如き感を抱きては絹織物の發達も販路の擴張も覺束なき憾なしとせず彼の地百貨店絹物部にては佛國製瑞西製などの付札は往々目に觸るると雖も本邦製の夫の發見に苦しむは殘念なり年額一億二千萬圓に足らざる本邦輸出絹織物が年額十五億圓の



絹織物を製産する米國を初めとし歐洲諸國へ分配せらるるにもせよ宣傳廣告にして要領を得ば一層需要者に親しむこと必ずしも至難にあらざるべし

#### 歐米に於ける廣告宣傳の效果

歐米人は虚偽を忌むこと蛇蝎の如く其半面には眞實を愛し正直なる丈それ丈一寸とした新聞の廣告を見ても之を忽に取扱はざるが如し例せば邦人が下宿屋を求むとの廣告を爲せば何十通の申込直に來るとは既に人の知る所なり又事は加奈陀に在りし一例なるかトロントに於ける某邦商はShinwearなる名稱の下に本邦羽二重を販賣せるを見たり此名稱は四五年前同店にて羽二重の賣行を挽回せんが爲の一策としてShinwearを轉訛してShinwearなる名稱を案出し盛に新聞に廣告して之が宣傳を爲せし結果顧客は忽ち其商店に殺到し店頭市を爲すの光景を呈し以て羽二重の需要を恢復し今尙羽二重の耳二碼毎にニューアウヰアーなる印を押捺して之を販賣せり

本邦輸出水産物中廣告宣傳が其販路擴張に與つて力ありし一例は英國へ輸入せらるる

鮭なりとす年額數量六十萬箱價額二千四百萬圓に達し其三分の二即ち四十萬箱は倫敦三菱商事株式會社の手に依つて取扱はるるといふ斯様に鮭が英國に於て販路を擴張するに至りし道程を辿るにFat horeなる廣告を巧に應用せしに負ふ所多しといふ又蟹の罐詰は年額六萬箱價額三百萬圓英國へ輸入せらるる状態に進みたるが本邦關係業者は一層之が需要を喚起すべく廣告宣傳を其得意先へ依頼し來れりと聞く

本邦富士絹PK印が代表的富士絹として英國に於て名聲を博し他品が八十志位なるに對し優に九十一志程の價額を維持しPKにあらざれば富士絹にあらずとまで見なされるに至りし原因の一も廣告に在りしものにしてPK印は英國發行の織物關係雜誌に連續的に廣告をなし爲に信用を得る機會を捕へしに因る

以上は邦人が廣告宣傳を利用せる二三の例なるが歐米の夫に關する實例は殆んど枚擧に遑あらず米國製安全剃刀Gilletteは斯界の權威にして隨て需要多きものなれば宣傳の必要なきが如き現狀に於てさへ歐洲にまで廣告の手を延し居れり或は電車内に或は料



理店に隨所に其廣告を見ざるなきに驚く又米國都市の Show window 内人形の陳列かと凝視すれば人形にあらずして現實の人が陳列窓内に在りて實地試験などを爲し以て商品の廣告を爲すを見ること數々あり伯林滯在中某印刷工場を視察せし際同工場の手になりし人造絹糸メンベルグの廣告の一冊を見たり表紙には外國婦人が人絹織物を抱きて笑ふが如くねむるが如く恍惚たる面相を美麗に印刷せり蓋し外國婦人が子に對する愛の表情と絹物に對する執着心とは自ら其趣を異にせるものにして此圖案は特種の表情を巧に寫したるなりされば此小冊子を繙くに先ち表紙のみにても人絹織物の購買心は誘發せらるる程巧妙なる手段にて人絹の廣告宣傳を爲す人絹織物の流行普及誠に故なきにあらず因に此小冊子は挿繪入にして小口數葉印刷鮮明にして美麗なり而して印刷代概算は五萬冊なれば一冊に付邦貨三錢五厘に過ぎずといふ

以上の如く外國人は概して宣傳に巧にして己が取扱ふ商品の性質眞價を知らしむるに妙を得宣傳に對しては自己も亦理解ある外國人には宣傳の効果一層多きものなり但し

鶏頭を掲げて狗肉を賣るの誇張宣傳は反て商品の販路を失ふの結果を招來すべく百害ありて一利なしと雖も適當なる廣告宣傳は需要者に對して親切なる所以にして慥に販路擴張の一策なりとす

嘗て聞く世界各國中廣告宣傳に費用を吝まざるは米國が第一にして之に投ずる金額は隨一なり第二位は金額に著しき差はあれども本邦にして米國に次ぐと果して然らば本邦が廣告宣傳に費す所は主として内國的方面ならん彼の仁丹の如き支那を旅行すれば各地に於て先づ第一に視線を刺激すること程左様に多しと雖も輸出的外國的には從來何れの商品を問はず概して廣告宣傳不十分の憾ありとす

#### 輸出絹織物廣告宣傳の急務

人絹世界の年額二億封度に近く天然生糸の産額の二倍以上に及び人絹大流行の時代に於て米國にては年七億六千万弗佛國にては四十三億法の絹織物を産出して需要者の要求を充たし原料生糸は主として之を輸入に待つを遺憾とし夫々養蠶製糸業の創始或は

發展を企圖し英國にても殖民地に斯業獎勵の意圖盛なるものあり既に若干の製産ある地方は勿論其他の殖民地に之が獎勵を爲さんとし場合に於ては専門學校設立の必要あるべしとまで論及されつつある趨勢なり彼を思ひ之を思へば何れも絹織物製造の振興増進を謀る手段を講ずるに外ならざるべし

夫れ天然生糸は東洋の特産物にして本邦は現時其代表的位置にありて又絹織物製産の術に長す且つ歐米今や東洋趣味を歓迎しつゝある状態なれば本邦輸出絹織物の特性等はより多く廣告宣傳して需要者に知悉せしむること現時の急務なりとす如何に歐米人の常識發達し各種の商品に付相當なる知識ありとはいへより以上之を了解せしめんと欲せざりし親切丁寧に説明して其長所を會得せしむべきなり廣告宣傳の實行一日遅るれば一日の損にして一日早ければ一日の利あることを忘るべからず且つ夫れ歐米に於ける事業の經理振は國內的より進んで國際的となり行く程の今日なれば本邦輸出絹織物を打つて一團として廣告宣傳に努めざるべからず然らざれば有効なる反應は呈せ

ざるものとす

宣傳の方法 海外に於ける共進會、博覽會等には四圍の事情に鑑み適當なる出品を爲すべくパンフレットの配布、新聞雜誌等の廣告も前節説明せしがく効果あるものなり特に共進會博覽會開催の場合に於ては賣店を設け輸出絹織物の切實を爲すべきなり之が係員としては適任者を選択するにあらざれば所期の目的を貫徹し難しと雖も適材を適所におけば需要者が絹織物に對する嗜好の如何、織物巾の實用上の便否性質の適否等を窺ひ知り得べく加之賣買の際顧客の質問に對し懇切に應答し當該織物の長所などを親しく説明せば宣傳以上大に得る所あるべきものと信す

## 費府萬國博覽會出品内外絹物及

### 其の陳列裝飾方法に關する比較研究

#### 費府萬國博覽會の輪廓

米國獨立百五十年を記念すべく一九二六年六月一日より同年十二月一日まで費府に開かれたる萬國博覽會は敷地百廿萬坪と算せらるる之に隣接して其一部の如く或程度まで一般に開放されたる海軍根據地の面積は此博覽會の監理に係る前記敷地と略同大なるを以て之を合算すれば實に二百四十萬坪程の廣漠たるものとなる隨て之に建設される陳列館の建坪も合計すれば優に四萬坪に達すべし重なる陳列館左の如し

館 別	建 坪	價 格 (圓)
農業及食料館	10,010	11,000,000
製造工業館	9,000	1,200,000
機械運輸館	9,000	1,200,000

教育館	11,010	6,600,000
美術館	1,900	210,000
計	31,920	66,800,000

構内最も注目を引くべき大陳列館のみを擧ぐるも尙且三萬三千餘坪に上る其他陳列館以外にして宏大なるものこ一二を擧ぐれば十萬の觀客を收容し得べき競技場(價格六百萬圓)二萬の聽衆を迎ふべき會館あり以て其規模の大体を窺ふことを得べし餘談ながら有名なる米國拳闘家デムシーとタンネーとの拳闘は右競技場にて會期中の九月廿三日行はれジャパンデーの講演及餘興は十月五日此會館にて催されたり

主催地たる費府は會場に達する市街の改良に多大の費用を惜まざるに尙且つ千七百四十四萬圓を投じて博覽會費に充當し米國政府は協賛費として四百三十七萬三千圓を支出し其他米國の州又は都市一部の豫算を合算するも八百八十四萬圓なりといふ今以上を合計するも三千餘萬圓に及ぶ若し夫れ米國他州の出費及賛同各國の經費を合算せ



ば頗ぶる巨額に上るべし

既往の萬國博覽會中最も成功せるものゝ一なる一九〇〇年の巴里の萬國博覽會陳列面積の半に相當する約百五十萬平方呎（四万坪）を有する大博覽會なれば之が觀察の知識又は方法の如何によりては大なる教訓を得べしと雖も生等其器にあらざるを耻づ博覽會出品内外絹物に關する比較研究

首題に就ては本邦出品の絹物が異彩を放てるは頗ぶる意を強ふせし所なれども其他の絹物出品にして特に注目し値するものと發見に苦しむは遺憾とす即ち米國ローヌアンゼルスの出品中佛蘭西縮緬の見本切出品ありこは蓋し同所附近ハーモサビーチのゴールデン、スステート、シルク、ミルの製品ならんかと推測す、支那出品中絹織物約七十点の出陳あり品種は絞織物類にして支那生糸を原料とし特色たる硬味を有するが如く見受けたり支那絹紬の出品は見當らず其他印度館内の聯合出品中に小切ながら絞染加工の絹物ありしに過ぎず之を要するに生等の觀察せし範圍内に於ては取立てて記述す

べき程の資料を得ず

博覽會出品内外絹物の陳列裝飾方法に關する比較研究

費府博覽會出品内外絹物の概況前説の如く隨て注意の中心となれる絹物及其の陳列裝飾方法は本邦絹織物の出陳及風俗の紹介陳列に在り再言すれば東都の五大百貨店三越白木松屋松坂屋高島屋の聯合による本邦風俗を示すべき陳列と本邦重要輸出絹織物産地の同業組合の聯盟に成る日本聯出絹同業組合聯合會の出陳せる各種輸出絹織物の陳列裝飾は少なからず縦覧人の視線を集中せり其陳列場たる第二號館内常に人の黒山を築くは本邦品の陳列區域にして特に生糸の製造實況、絹織物の陳列場並に御木本の眞珠塔の近邊が其中心なるが如し而して外國婦女子の垂涎の標的となりしは其絹織物たるや論を俟たず或人は何故に米國人がより多く本邦絹織物を購入せざるや不思議の感ありといはれし程米國人は此等の出品に對して注意を拂ひ居たり

五大百貨店の風俗表示の陳列裝飾は米國獨立百五十年に因み百五十年前の本邦風俗と



現代の夫とを表裏に組合はせたる人形應用の陳列なり現代の分は紅葉狩を背景とし紳士淑女小供大原女など年齢階級の異なる人物を選び百五十年前の方は櫻狩を題材とし御殿女手などを配置した兩者共に主として本邦絹織物を適當に應用して我が風俗を紹介せり

日本輸出絹同業組合聯合會の輸出絹織物の出品陳列は正面に富士三保松原及羽衣を配置し白地物を應用又は陳列し右側には櫻狩の人形三人立とし左側は春日の紅葉を背景とし衣物などを陳列して本邦重要な輸出絹織物を網羅して以て縦覽人を吸収す  
以上の二陳列裝飾は今回費府博中の白眉なりとは我も稱し彼も亦稱す所にして決して過言に在らず隨て本邦絹織物を米國に紹介する上に於て相當なる効果ありしは信じて疑はざる所なり

今將に此一節の稿を終らんとするに際し少しく希望の一端を述べて教を乞ふ所あらんとす

縦覽人をして出品物の味を知らしむる方法を講ずるの要なきか

從來の共進會博覽會等に於ける絹織物の出品陳列は多くと言はんより殆んど其總てが縦覽人の目に訴ふるを目的とし如何せば縦覽人の注目を引き得べきやに工夫を凝らし或は現物を綴切りて衣棚類に掛け或は物に擬へて出品と裝飾とを兼ね或は人形其他を利用して出品の實用的價值を示すなど一意専心視線を集めんことを努むるを常とす此等の事たる頗ぶる重要にして先づ品物をよく見るにあらざれば購買心の誘發せらるるものにあらず故によく見るといふことが先づ第一の要件なれども之のみにて足れりとすべきにあらず總て需要者が或絹織物を購入せんとするには色相柄行が大切なる條件たるの外味も亦必要條件たることを忘るべからず絹織物は一種特別な味を有し其肌觸、手觸は快感を與ふるものにして味硬きに過ぎざるか或は軟かきに失せざるかは需要者の豫知することを要望する所なり外國婦人は絹織物に對する觸感鋭敏にして之に觸るときは不言外の快感を覺ゆること宣傳の一節中に略說せしが如し果して然

らば共進會博覽會等に絹織物を出品する場合に於ては目に訴ふると共に手に訴ふる方法を講ずるの要なきか

若し觸感にも訴ふるの要ありとせば出品物たる絹織物の全部を開放して斯様なる取扱に任すべきは事情の許さるるものあるべきを以て味を知らしむるに足るべき丈の大きさの見本切或は代表的現物の或物を陳列棚の外部に添付し縦覽人をして自由に其味を實驗し得せしむるの便宜を謀らば一層よく出品物の性質を了解せしめ以てより以上絹織物出陳の目的を達成し得るものにあらざるか如何但し此の如き添付品を備ふるに就ては体裁を害せざる様否美觀を添へるが如く意匠を凝らすこと肝要なるべし若し其考案當を失するときは縦覽人をして不快の感を抱かしめ反て購買心の減退を招くことなしといふべからず

### 將來本邦品として輸出の見込ある絹物に關する調査

本問題は最も趣味あるものにしてしかも平素寸時を念頭を去らざるものなれども之か調査に就ては彼の嗜好流行の變遷現況等を知悉するにあらざれば爲し能はざる所にして至難の問題に屬する一たり今本問題を次の三に分解し單見の一端を吐露せん

- (一) 從來輸出せしことなきものにして將來米國市場に見込あるべき本邦製の絹物
- (二) 從來若干輸出せしことあるも將來一層米國市場に見込あるべき本邦絹物
- (三) 從來輸出せしことあるも之を幾分變化せば將來一層米國市場に見込あるべき本邦絹物

(一)の問題の本論に入るに先ち第一に要望したきは本邦絹織物の巾を廣巾とし以て内外共通とせまほしき一事なり從來の本邦製絹織物にして若し廣巾となりたらんには其儘輸出品たり得べきものなきにあらずとは想像に難からざるなり生等嘗て横濱高嶋屋の小賣部に於て立筋の糸織廣巾物の店頭に陳列せられしを見聊か不思議の感を抱きしが

横濱在住の外人は時々來りて切賣を望む向あるにより之を備ふるなりとの店員の説明を聴き首肯せしことあり又一日福井縣工業試験場に米國人某氏の來遊せるあり同場試製品中小巾絹を見日本製の絹は支那製の絹に比し味軟かにして佳良なれども巾の狭きを恨むと評せしことありといふ以上は一二の例に過ぎざれども既製本邦絹物にして廣巾なれば輸出品として研究する可能性を有することを知り得へし近年商工省にては切に廣巾織物宣傳獎勵に努め年々其成績良好に向ひつつあるは喜ぶへし消費者側に於ても舊習にのみ拘泥せずモス、チルの如き廣巾物を取扱ふと同様に内地絹織物の廣巾を歓迎する程度にまで進まんことを希望す尙近時唱導せらるる内地向廣巾織物の免稅が幸にして實現するに至らば一層廣巾織物の普及を促進すべく隨て輸出絹織物増進に資する所少なからざるものあらん

蓋し聞く佛國里昂にて近年製織しつつある彼のマロケンクレープは本邦濱縮緬にヒントを得て案出せし一種の縮緬なりと果して然りとせば吾人の内地織物なりとして取扱

ふものの中輸出品たり得るものなきにあらざるべし但し米國人の嗜好は頗る突飛にして思ひも付かぬ印半天か婦人社會に歡迎せられし一例より考ふるも端倪すへからざるものあり故に米國向として從來の本邦絹物の何れか果して見込あるかの意見を立つるは至難なれども今回米國及加奈陀モントリオール地方視察中大なる百貨店にてタフタをシフオンタフタの名稱にて販賣せるを見たるに若干のヒント得をたり一例を舉ぐれば三十六吋巾一碼小賣相場二弗にして色相は玉虫などなり設計の大体は鯨一寸八十枚前後一羽三本通し經糸は十四乃至十六デニールの双撚、緯糸は十四デニール四本片撚にして打込は百五十五杼乃至百六十杼目付は十二付以上の重目物なり他の百貨店にても亦同様の品を見受けたり現時全盛を極むる米國の縮緬は其縮立漸次平かとなり行く傾向を有し且つ縮緬黃金時代の反動として平物撚頭の期に轉換し縮緬類と平行するにあらずやとの豫想の下に透織を基礎として研究し特種の味ある薄地タフタを試織して米國市場の批評を求むるも一策ならんと思考す



(二)に對しては重目絹紬然るへし本邦製絹紬は主として十二匁付にして重目絹紬も亦之を製出せざるにあらざれども其量多からず然るに米國市場に於て重目絹紬の需要相當あるへき見込なるを以て之が品質價格等には研究を重ねるは問題たり得へからずとも言ひ難し

(三)に就てはFlat crepe 及びRadiumならんと認むフラットクレープはクレープツシューの一種ともいひ得る縮緬なれども緯の撚度は一般に普通のクレープツシューより少く隨て縮立も少なく布面平坦なるの故を以てフラットクレープの名稱の下に販賣せられ漸次流行せんとする勢ある織物なりラヂウムとはバレースクレープの如き外觀を有するものにして緯に左右二種の撚緯を打込みます一方の撚緯のみを織りたるなり但し經の密度と緯の撚度との關係が此織物の生命なり若し兩者不調なるときは或は竹縮を生じ絹縮の如き外見となり或は細きチ、レを表はす又ラヂウムは緯の撚度少なくなるときは牆瀨羽二重かとも思はるるに至ることあり此ラヂウムに就ては目下商況面白か

らずと説明せしパターンの某機業家ありしが百貨店にてはフラットクレープと共にラヂウムを販賣せるを見受たりされば若干商況の變轉はよしあるにもせよラヂウムも亦相當なる顧客を吸収する立場に在ること察知するに難からず斯様に米國に於ける縮緬は縮立ちか漸次平坦に移り行く傾向を辿るものにして本邦の内地縮緬は濱縮緬の荒縮より錦紗に轉し更に古濱となりて濱縮緬に接近せるに比すれば反對の進路を取るものと言はざるを得ず

之を要するに本問題に就ては内地絹織物を廣巾に改め内外共通の織物と爲し一面に於ては從來の内地絹織物の輸出化に就て工夫を凝らすべきものにして仕向地嗜好流行の要領を會得するにあらざれば其功を奏し難し



## 米國視察雜錄

羅府外人經營の百貨店にて調査せしことも

同所にて調査せし所に據れば本邦絹織物を輸入するより米國東海岸製品を移入する方の問題に於て利益なるのみならず色相も亦自由自在に染色せしむることを得べく配色も可なるを以て東海岸製品を取扱ふ又歐洲品としては佛國品などを輸入す  
同百貨店にて本邦婦人の買物を爲すに本邦品を取らずして米國製品を選択す之れ本邦製品が米國嗜好に適合せざる証據なりと同店絹物係員某氏は物語られたり此事實は考へやうによるものならんか暫らく記して參考とす

又本邦輸出絹織物進展に就ては左の二項最も必要なるべしとの意見を得たり

- (一) 米國に駐在員を置き流行嗜好の變遷を調査すること肝要なり色に關して特に然り
  - (二) 取引に就ては代表員を置き其の迅速圓滿を謀ること大切なり
- 桑港日本商品陳列館にて承りし意見梗概

本邦より米國へ輸出する綿縮不振の原因に就ては

- 一 米國市場の變遷
- 二 本邦品の粗製濫造
- 三 本邦品新味の缺乏
- 四 販賣組織の不備

の四項を數へ得べく而して輸出絹織物に至りても亦同様なり元來製造家が織物の用途を知らずして製造せば實用上の要件を具備する品は得難きものなり絹縮は二三年前迄シャツ生地地使用せられしが現在にては窓掛又は女兒の衣物婦人の室内着が主要なる用途なるを以て薄地にては面白からず厚地にして丈夫なることを必要條件とす其心にて製造すべきなり本邦絹縮の競争品としては支那の河南絹縮あり此品必ずしも本邦品より品質優良なるにあらずと雖も價格の比較的安定なるは歡迎せらるる所なり本邦蠶の罐詰は立値により信用を確保しつつあり絹縮も亦此の如く立値を定むること能はざ

るか

羽二重の用途は従来多く衣物の裏地に在りしが近來流行の變遷により裏なしドレスの歡迎せらるゝが爲自然裏地向羽二重の需要は減退せしなり

桑港の前賣屋は店費を要すること少なからず少なくとも一五%の店費を消費するを以て一五%位の利益にては其商品を取扱ふことを欲せず五〇%が少なくも三〇%の利益あるものにあらざれば之を取扱はず換言すれば利益あらしむべき商品にあらざれば之を取扱はざるなり

染色改良の必要　米國にては染色の標準色を定め之によりて染色を注文す東海岸パタソン地方にて染色せしむれば色相毫も見本の夫と相異なく取引上極めて圓滑に進行すれども之を本邦に注文するときは遺憾ながら見本と一致せず大なる行違となり取引上支障を生ずること少なからず故に本邦にては染色に關する改良を急務とす云々  
紐育にて調査せし結果の概要

現時本邦輸出絹織物にして米國市場に覇たるものは絹紬なり之が將來をして光明あらしむるは急務中の急務なり目付單純にして主産地は福井岐阜の二ヶ所に過ぎず此絹紬にして發展の機運に向ふこと能はざれば他の品種に手を染むるも成功の見込なし故に脊水の陣を以て絹紬の發展に努め延ひて他品種の絹織物に及ぼすべきを適當なる順序とす

人或は曰はん米國に本邦輸出絹織物の増進を謀るは至難なりと蓋し米國に限らず何れの國に對しても競争激烈の度を高めつつある今日決して易々たる業にあらざるなり購買力旺盛なる米國は顧客として第一流なり其製品にして嗜好だに適合せば購買心を唆ること必ずしも難きにあらず米國の富力を以て其國民の自信力と敏活を以て其機械の精銳を以て將來外國貿易の進展を謀る同國に對する輸出貿易は到底望なしと悲觀すべきにあらず優悠逸樂を事とし惡質を高値にて販賣せんと欲すれば世界何れの國と雖も之が輸出の途を開くこと能はざるべし商務長官フーパー氏外國貿易促進論中の一節を

借りていへば第一に貿易を發達せしむるものは相手方の貧窮にあらずして繁榮でなければならぬ此点より思考すれば米國は海外貿易の良得意先として指を第一に屈せざるべからず

米國は舊來開拓せし市場なり既に過去に於て失敗せしと雖も之を恢復せんとするものなれば考へ様にては新市場の如し宜しく其心を以て惡戰苦闘せざるべからず

加奈陀市場に於ける—

—本邦絹織物調査—

### 加奈陀市場に於ける本邦絹織物調査

#### 加奈陀概説

加奈陀は面積約六十二萬方里人口一千萬と稱せられ其人口の半分の五百萬はオンタリオとクエベックとの二州に集中すオンタリオ州の中心はトロントクエベック州の中心はモントリオールなりトロントはオンタリオ湖に臨みモントリオールはセントローレンス河畔に在り其河水は冬期結氷する不便あれども商工業の大中心たるを失はずオタワは人口十二萬市街を形成せしは百年前にして首府たりしは六十年前なり市内名所舊蹟の見るべきものなしと雖も國會議事堂裏の如き山紫水明の地區にして京都を聯想せしむるが如き俤あり工業は製材を第一とし之に伴ふマツチの製造業あり其燐寸の軸木には特色あるが誇なりといふ。

加奈陀は現在にてはパルプの原料を米國へ輸出する有様なれども將來はパルプとして之を輸出せんとする意圖あるもの如し



商業としては小賣不振の状況にして一寸纏りたる品は之を得ること能はざるに因り近くはトロント、モントリオール遠きはニューヨークより之を仰ぐ状態なり

從來オタワ或は加奈陀に來遊する邦人は其數多からず臺灣の如き殖民地風の土地柄の官吏か或は滿鐵其他鐵道關係の方々割合に多し之れ加奈陀は英國の殖民地なりとの觀察の下に殖民對策に付參考資料を得んとするに在れども其實加奈陀は英國より總督が派遣せらるると雖も獨立せし殖民地の如き状態たるを以て存外參考資料は乏しきものとす又鐵道については Canadian National Railway (略稱 C.N.R.) と Canadian Pacific Railway (C.P.R.) 峇稱との二大鐵道あり C.N.R. は民間の鐵道を買収せし官營の大鐵道にして其延長二萬哩にも達せんが C.P.R. は五億弗の資金を以て二萬哩の鐵道と八十艘の汽船を有する外土地開發の事業を經營し其事業は滿鐵の夫に類似せり故に滿鐵其他塞國の鐵道に關係ある方々の來遊は無理ならぬ所なれども産業方面研究の目的に向て入込む邦人の比較的少なきは不思議なり何んとなれば加奈陀は産業關係に於て歡

過すること能はざる所あればなり

加奈陀は農業(或は農牧か)を以て立國是とし費途は主として之が發展に向け海軍費の如きは太平洋及大西洋に驅逐艦各一艘位を有する程度なり又一方陸軍の費用に於ても僅かに内亂に備ふるに過ぎず隨て比較的巨額の軍費を要せざるなり而して國家の收入は關稅を基本とし所得稅を徵收すれども其割合多からず歲出は産業方面の進展に主きをおきて之に仕向け海陸軍の費用は之を減額せるものなりやに聞く

モントリオール、クエベックが假に不凍港なりせば或は紐育の如く發展し得ざるにも限らざれども此天恵なきは加奈陀の爲に惜むべきなり參考の爲リヴァーブル、グラスゴーに至る距離を示せば次の如し

クエベックより

グラスゴーまで

二五五八哩

クエベックより

リヴァープールまで

二六三〇哩

モントリオールより

グラスゴーまで

二九三〇哩

實際に於ては兩地が凍港なるにも不拘四億弗の輸出超過を有するは加奈陀産業の隆盛を物語るものに在らずして何ぞ加之電力豊富にして且木材の産出に富み近くオンタリオ州にて二ヶ所まで人造絹糸製造所が米國の資金にて經營せらるゝとならんと傳ふ此の如く將來米國人の移住するもの漸次其數を増すべく現在は人口稀薄なれども隨て其増加を見るべく購買力の増進又疑を容れざる所なり

最近三ヶ年に於ける

加奈陀の各年總輸出入 (單位弗) (四月より翌年三月まで)

年次	總輸出	總輸入	出超
一九五一—五	一、三六、五七、三三	六七、四〇、七三	四〇、一三、六〇
一九四一—五	一、〇八、三三、六四	七六、三三、五七	二六、四九、一〇六
一九三〇—四	一、〇五、七三、二七	八三、三六、八七	二五、三六、四〇

加奈陀の貿易は最近三ヶ年間年々順調に進みたり戦前の一九一三—一四年には輸入六億一千九百十九萬三千弗に對し輸出は四億五千五百四十三萬七千弗にして一億六千三百七十五萬六千弗の入超なりしが前表に見るが如く一九二三—二四年には出超二億五千五百弗のもの年々漸進し最近に至り四億弗の出超を實現せり  
貿易國としては英米兩國が其重なるものにして一九二四—二五年英國への輸出は三億九千七百萬弗輸入は一億五千百萬弗にして貿易額は五億四千八百萬弗に及び米國への

輸出は四億二千七百萬弗輸入五億一千萬弗にて貿易額は九億三千七百萬弗に達す而して本邦との貿易は同年度に於て本邦への輸出二千二百萬弗輸入七百萬弗即ち貿易額は二千九百萬弗なり

加奈陀の総輸入品種中特に頭角を表はすものは鐵及其製品にして一九二三―二四年に一億七千萬弗に上る輸出品種中には農産物其巨頭にして四億弗以上を算す

貿易港としてはモントリオール最上位に在りトロント之に次ぐ一九二五年三月三十一日迄一ケ年の貿易高次表の如し(單位千弗)

モントリオールトロント兩地貿易高

計	輸 入		輸 出	
	モントリオール	トロント	モントリオール	トロント
	千弗	千弗	千弗	千弗
	一七、二七	一六、一三	一五、九	一七、〇
	三三、〇六	八七	三三、〇六	一七、〇

モントリオールは輸入に於て一五%輸出に於て二四%を占む

加奈陀に於ける絹織物製造業と其需要

加奈陀に於ける絹織物製造又は之に伴ふ精練染色整理は絶無といふにあらずと雖もモントリオール及トロント地方に主なるもの數ヶ所現存する有様に過ぎず故に大局より之を觀察すれば刻下斯業は加奈陀になきものと如く自國製絹織物の供給殆んどなき状態なるに絹織物の需要は年により若干の増減あれども漸次其度を高めつゝあるものと認めらる既記の如く加奈陀人口の約半を占むるオンタリオクエベックの二州は東部に位して境を米國の東海岸に接し風俗習慣の如き米國に類似したるものありて生活程度高く服装等に於て米國の流行を學び絹織物の需要増加の傾向ありと觀測せらる

糸布及布帛製品の加奈陀輸出入總額對照表

四月―三月迄	輸 入 (弗)	輸 出 (弗)	差 引 (弗)
一九二五年	一八、六、八三	八、四、〇四	一〇、二、七九
一九二六年			

一九四四年	一五、四四、七七	九、七一、七〇	一五、七九、〇七
一九三三年	一七、七五、六〇	八〇五、〇八	一五、七四、七七
一九四四年			

今大体論として前表輸出入の差額を以て假に加奈陀に於ける織物關係の需要金額とすれば一九二四―二五年に於ては前年度に比し約一千万弗の減額なれども一九二五―二六年に至りては前年度に對し約二千万弗の増加なり

加奈陀消費絹織物輸入表 (單位弗)

其一 瑞 西

品 種	一九二四年	一九二五年
リボン各種	五九、四五	四八、六〇
絹布 (未整理品)	一六、四三	五五、七七
絹布 (ネクタイ用)	一九、四一	一五、〇七

品 種	一九二四年	一九二五年
其他絹織物	四、七六、一八	三、五七、〇四
絹衣類	二四、七〇	一九、九四
天鵝絨	五、二四、三四弗	四、三四、四二弗
計		

其二 佛 蘭 西

品 種	一九二四年	一九二五年
リボン各種	二四、七二	三九四、三三
絹布 (未整理品)	六五、二九	三、七六
絹布 (ネクタイ用)	二、四八、二三	一、〇三、六七
其他絹織物	五〇、七〇	八四、三六
絹衣類	五九、三五	四七、七七
天鵝絨	三、四九、八二弗	三、七七、八〇弗
計		



其三 本邦

品	種	一九二四年	一九二五年
リボン	各種		
絹布	(未整理品)		
絹布	(ネクタイ用)		
其他	絹織物	二,六五,五〇	二,九八,五〇四
絹	衣類		
天	鷲絨		
計		二,六五,五〇弗	二,九八,五〇四弗

以上三表合計(瑞西、佛蘭西、本邦分)

品	種	一九二四年	一九二五年
リボン	各種	八五,七二六	八五,九一五
絹布	(未整理品)	二六,七二六	二八,五二二

品	種	一九二四年	一九二五年
絹布	(ネクタイ用)	一九,四七一	一九五,〇七七
其他	絹織物	八,九六,八二九	八,五七,〇〇九
絹	衣類	五〇,一七〇	八四,三三六
天	鷲絨	三三,〇三三	四九,六三〇
計		一,三六,五〇六弗	一,〇〇,七二〇弗

備考 本邦の輸入額は絹及絹製品なり

加奈陀輸入絹糸及絹織物總額

其一 一九二四年分

絹糸	數量	價格	(封度)	(弗)
絹	交織物	(弗)		三,七四〇
絹	織物	(弗)		八,七二八
計				一二三,一五七

英國	米國	其他諸國	計
三,七四〇	五五,一四五	三六,一四五	七五,一三〇
八,七二八	二,八二八,〇〇〇	二,九四八,〇〇〇	五,八五七,二六
一二三,一五七	一,五五五,七三〇	二,三四九,一六四	一四,〇八,〇七

絹衣類(弗)	一七五,七五五	一,〇七五,六六一	一,七〇五,八三五	二,〇〇〇,八三三
リボン各種(弗)	一五八,〇七四	五五,〇四四	一,五九一,一七九	二,一〇一,一五七
計	一,五二九,七二二	三,四四六,三〇〇	一五,一九一,三三三	二,〇一七,五三三

其二 一九二五年分

絹糸 數量(封度) 價格(弗)	英國	米國	其他諸國	計
絹交織物(弗)	三三,〇七〇	二九三,五三三	四三三,一八〇	七九,七二〇
絹織物(弗)	六三,五三三	一,七八四,四七六	二,三七九,一五〇	四,二六〇,二五九
絹衣類(弗)	二六,一五七	三六,六三三	六八四,五三三	一,〇八七,六九三
リボン各種(弗)	九三,五七七	一,〇〇四,七一一	一〇,一二一,五五五	一三,一七七,八三三
計	二四二,六五五	八六,二六二	一,九二九,四一	三,〇四九,一〇〇
	一三,〇六八	三三〇,六三九	一,三六五,五六	一,八三三,八六三
	一,五三三,〇三五	二,五九三,六四〇	一四,一六,八六〇	一八,一三三,四九九

前諸表の示すが如く加奈陀に於ける糸布及布帛製品年消費額の見込高は最近約一億七

千五百萬弗にして内絹織物の總輸入年額は一千八百乃至二千萬弗に達す之を左の重なる仕出國別として摘録すれば次の如し(一九二五年分)

瑞 西	四,三四四,四一四弗
佛 蘭 西	三,七三七,八〇二弗
本 邦	二,九二八,五〇四弗 (絹を含む)
米 國	二,五九三,五八四弗
英 國	一,三五二,〇二五弗
計	一四,九五六,三二九弗

右表中本邦より輸入する絹織物の金額は絹を含みたる數字なれども兎に角相當の位置を占め居るものと認む一九二五年四月及一九二六年四月の月別表によれば次の如く本邦絹織物は首位を占む

一九二五年四月及一九二六年四月

加奈陀絹織物輸入仕出國別表 (弗)

計	國別		増	減
	一九二五年四月	一九二六年四月		
本邦	三六、四二	三六、七三	一三、二九	
瑞西	一八、六六	三六、三九	一七、六三	
佛國	一〇六、〇六	三三、三三	一〇八、三三	
米國	一九、三三	一〇一、八四	一一、三三	
伊太	八〇	一四、七六	三、九四	
英 國	六、五八	七、四六	—	三、六三
其他を合して				
計	八七、五八	一、一八、〇六	三三、七三	—

此の如く本邦絹織物は加奈陀に於て可成輸入せらるゝに不拘トロントのイトン、モントリオールのヘンリー、モルガンの如き地方第一流の百貨店を覗き其絹織物部を通覽せしに佛國製又は瑞西製などの付札は目につけども不幸にして本邦製の表示を見ること能はざるは憾なり御召縮緬なれば京御召大師は弘法に奪はるゝ類に因るか何れにもせよ本邦輸出絹織物は對外的に廣告宣傳が足らざることを痛感せり

### 加奈陀に於ける絹の市場

概説中に述べしか如く加奈陀に於ける商工業の二大中心はモントリオール及トロントなりモントリオールはセントローレンス河に臨める加奈陀第一の都會にして人口九十九萬七千五百（一九二五年）を有しローヤル山頂に登れば全市の風光を双眸の中に集むることを得重要な毛皮の一大市場なり餘談ながら加奈陀に於ける毛皮貿易は主要なるものの一にして一九二四年七月より一九二五年六月までの輸出額は一千七百十一萬九千弗輸入額は八百八十三萬三千弗を算しモントリオールの外ウヰニベツグ（第三の都會人口十七萬九千）を其の市場とす

トロントは第二の都會にしてモントリオールに次ぎ一九二一年の人口五十二萬一千なれども現時は六十萬と稱せられオンタリオ湖畔に在りモントリオールと共に商勢區域廣し

モントリオール及トロントに於ける邦商絹物店としてはシルクスあり同店は日露戰役

の頃生れたる石川商會の後繼者なり外人の絹物商としてはグレッグ及キングト呼はる  
こものを重なる間屋とす商賣の規模大なるものはトロントのイートンモントリオール  
のヘンリーモルガンなどの大百貨店ありイートンの如きは現時モントリオールにも大  
建築を爲しつゝあり既設の一部に於ては機敏にも營業を開始せり

### 本邦絹織物の需要狀況

クレープツシーヌ 精練整理の後輸出せらるゝ向の同品は純白なるの後を以て白使用  
向として歓迎せらる目付は七夕八夕十夕付等あり本邦製クレープは純絹なるが爲實用  
上丈夫なる上に於て信用ありと稱する向もあり從來本邦製クレープの加奈陀に輸入せ  
らるゝものは精練品少なく生縮緬多きは既に人の知る所なり其の何故に然るかに就て  
は關稅と錫仕上の爲ならんと推測し居れり然り關稅は生地なれば從價二二、五%練及  
練染物に於ては二九、二五%にして生地物は關稅に六、七五%の差額なりて利益なり

然れども錫仕上に至りては少しく之を行ひしことあれども成功するの域に達せず現在  
にては純絹の状態にて供給せらるゝものゝ如し

染色は流行の變遷著しく之に隨伴すること能はざるに因り本邦品を輸入して適當なる  
色相に染め以て需要者に供給するを普通とすれどもトキ色空色などの如き比較的安定  
なる色相は出來得る限り本邦にて染色せしものを輸入する方便益あらんとの設を唱ふ  
る御仁ありしが此点は研究を要すへき問題ならんと思考す

羽二重 は近年流行界より遠かりしか爲其反動として稍恢復の曙光を見るならんとの  
樂觀説もありしが羽二重の需要を喚起するには相當の苦心を要するものなりと察せら  
る例せば Shur wear (Sare wearの轉訛)の新名稱の下に廣告宣傳により部分的なから其  
の需要を恢復するにも少なからざる努力を要せしか如し

富士絹は相當見込あるへきものと認む嘗て某商店にて生の富士絹を輸入し之を加奈陀  
にて染色加工を爲せしことありしが未だ本邦練に及はざりといふ



絹紬 モントリオール地方にて年三萬疋の需要あらんかと思込まれたる向あり用途は婦人の下衣女兒の上衣などなり

織物の幅 五十四吋巾のもの一時流行せしか現在は肩掛に少しく需要あるのみにて其要求少なし又富士絹の如き三十二吋巾なれば上衣にも下衣にも兩方向となり都合よしと雖も二十九吋にては兼用し難く下衣向のみに限らるものなれば巾としては三十二吋を望むとの説を聞けり

### 本邦絹織物と諸外國品との競争狀況

クレープツシーヌ 歐米品の大敵あり佛國又は瑞西よりも相當多く輸入せらるる目付よりいへば本邦品は七、八付の軽目より十付見當までにて十二、十四付などの重目は加奈陀製が瑞西物などが歓迎せらるる本邦製白縮緬と加奈陀製の夫とを比較すれば本邦製は純白にして雪を欺き加奈陀品はクリーム色を帶ぶとの評言あり縮違につき瑞西品

と本邦品とを對比するに後者は其欠点あるを憾とす前者は絶無といふにあらざれども縮違の少なきが長所なり元來外國製の織物は模様精巧など之に學ぶべき点多しと雖も疵なきことは敬服に値する所なり此長所は大に我等の模範となすべきなり

佛國製クレープと本邦製品と比較して彼の競争上有利なりと認むるは佛國は支那生糸を無税にて輸入し之を原糸に應用せるの一事なり又諸外國品との競争上最も重大なる問題の一は錫仕上にあれども其關係する所廣く且つ多きを以て暫らく茲には其の論議を後日に譲ることとせり

入荷日數につき瑞西物と本邦品とを比すれば瑞西より輸入せらるるものは極く早きは二、三週間にて入荷すれども本邦品は八週間長きは十週間ならざれば着荷せず爲に時期を失するの不利益あり

富士絹 は又シルクブロートクロスの名にて取引せらるる其競争品として米國東海岸製の人絹交織物なれども高價なるが爲問題とならずと認む此品は小賣一疋五十仙位の

價格にて取扱はざれば採算不利なるに仕入價格は九十仙なれば之に關稅及小賣經費を加算すれば優に一弗五十仙以上となる

$$90 \times 1.35 = 122.5 \text{ 仙} \quad \text{は關稅}$$

$$122.5 \times 1.3 = 159.25 \quad \text{は小賣費用概略見込}$$

日本品と外國品との取扱上利益の比較

加奈陀に於て日本絹織物類と外國品とを両々取扱ふ某商店あり二人の賣子を使用し年若干圓の日本品を販賣し之に依つて得たる利益と六人の賣子にて同額の外國品を取扱ふ利益とを比較すれば外國品の方利益倍額なりとのことなり換言すれば日本品を取扱へば利益少なく外國品なれば利益多しといふ結論となる暴利を貪るは別問題なれども正當なる利益なき品物は商品としての價値なきものなり本邦絹織物を取扱へば外國品の場合より利益少なきは競争上最も不利なる弱点といはざるべからず

富士絹は目下六十七仙の相場なかが加奈陀の某百貨店にては八十仙にて小賣するもの

あり今假に六十仙にて仕入たりとするも小賣費用五〇%と積れば九十仙となり又三〇%と見積るも七十八仙となるに其小賣相場八十仙にて販賣する所以のものは日本の富士絹を看板としリーダーとして他の商品の賣上を増加せしめんとする作戰計畫に出づるものならんといふ

## 結 末

從來餘り多く邦人により注意せらるることなき加奈陀の絹織物市場は前途有望なるものと認む生等は米國橫斷旅行の途次先づトロントに入りて其大体を視察し紐育滞在中更にモントリオール、オタワ地方を巡遊して調査を爲し臆氣ながら其輪廓を味ひ管單ながら右の結末に到達せしなり

英國市場に於ける—  
—本邦絹織物調査と英國綿業界の通覽

On the Market of Great Britain and Ireland for Japanese Silk Goods  
A Survey of the Japanese Silk Industry and a General View of the Cotton Industry in Great Britain

By  
[Faint text, likely author name]

[Faint text, likely publisher information]

英國市場に於ける本邦絹織物調査

英國綿業界の通覽

英國絹業概班

英國は綿業に於て世界の覇權を握り全世界綿布需要に對し大部分を供給すと雖も絹業に至りては昔日隆昌なりし時代もあり由なれども現在にては衰微して振はず歐米諸國中第六位を占むるに過ぎず蓋し製産費の割高なるなど其主なる原因なるべし故に英國は絹に對しては輸入國にして一九二五年の絹及其製品の輸入總額は二千二百五十八萬三千磅に上る内本邦に關係多き絹織物の輸入高及仕入先國別次の如し

仕入先	數量 (平方碼)	價額 (磅)	歩合
佛蘭西	三,五三,八五	六〇,七〇,五七	四,七
瑞西	二,二四,二六	二,九四,三四	三,九



伊	太	利	八、七〇、七五七	二、〇七三、五九〇	一五、九
日	本		一五、七五、八〇八	一、四四、三三六	二、二
米	國		六、六、九六	五、六、七〇	四
其	他		三、三三、七三三	三、七、一〇一	二八
計			三、六八、八七	一三、〇〇五、三六七	九、九

邦貨約一億三千万圓の輸入額中歩合に就ていへば佛蘭西は約半に近き四六、七%を占め瑞西伊太利順次之に列し本邦よりは一一、二%の輸入あり前表は海外商報四一六號所載在リツアブル玉木領事報告の一節により作製たるものなり又他の材料(後出)により試に一九二六年上半年に於ける本邦絹織物の英國輸入を調査するに金額は七十四萬三千磅にして之を一九二五年同期間の百十七萬八千磅に比較するときは四十三萬五千磅の減少なり之れ一九二五年七月より關稅徵收せらるるが爲六月に於て五十一萬九千磅の見越輸入ありしが故なり又佛國の如きも一九二五年上半年に於ては其輸出著し

く増加し注文輻輳せしと雖も同年七月一日以後適用せられし新關稅は之を緩和するに至りしといふ

英國絹業の中心はマツクルスフギルド及リークにしてマツクルスフギルドは人口三萬八千八百四十六を有しマンチエスタアの南方十七哩半の地に在りリークは人口一萬七千二百十三マツクルスフギルトの又南方十三哩半に位す即ちリークはマンチエスタアの南三十一哩の地点にしてロンドン、マンチエスタア間の一驛スタツフォートより二十七哩半を距る

リークは人絹交織物等を産出し縫系刺繡糸莫大小等を製造すマツクルスフギルドは縮緬、絹紡物を製織し染色仕上等をも營む

英國の生糸奨勵 一九二六年十一月一日ブラッドフォードの商業會議所に於ける英國貿易省長官サミュエル氏の演説及同年十月十四日帝國學士院に於ける製絹諮問に對する委員長の報告などを綜合して彼是考察すれば英國にては其殖民地に養蠶製糸奨勵の

意圖盛なるものあり英國殖民地中既に製産せられつつあるサイブラス島は勿論其他の地方に養蠶製糸の奨励を爲さんとす尙其方法の一としては専門學校の設立も亦必要あるべしと論及せられたり

### 英國輸入の絹織物

既説の如く英國は絹織物に對しては輸入國なるを以て佛國、瑞西、伊太利、本邦等より之を輸入す今種別の大体につき仕出國別表を示せば次の如し

起毛織物	一九二三年		一九二四年	
	平方碼	磅	平方碼	磅
佛國	二,四五四	三,三四	一〇,三四	九,〇〇四
瑞西	二,三四	三,九五	三,九五	四,八
伊太利	一〇五	一〇,九五	四	五,二八

### 染色加工せざるもの(羽二重を含む)

其他稱額	一九二三年		一九二四年	
	平方碼	磅	平方碼	磅
瑞西	六,六九二	一,六九二	二,三六	六二
佛國	九,二五五,六〇二	三,七〇二,四〇一	一五,〇四〇,三三	四,三三,七九
瑞西	一九,九四二,八三三	五,〇八,五〇〇	一九,七六八,八八八	四,六四,六〇〇
伊太利	六,五七一,〇〇〇	一,七四三,〇四八	九,二五六,八七三	二,三五,九九
リボン	價額のみ			
佛國		八九四,八八五		八四二,二元
瑞西		一,四五,八九〇		九七,九六
伊太利		一九,九四四		一七,〇六一



前表により佛國、瑞西、伊太利、三國の英國輸出の絹織物年額の比較を求むるに次表の示すか如く一九二四年分の合算に於ても佛、瑞、伊の順位なりとす

佛、瑞、伊より英國輸入の絹織物 (一九二四年中) (單位、磅)

	佛國	瑞西	伊太利
(純絹物)	九〇〇	六八	五二六
純絹起毛織物			
染色加工せざるもの			
(羽二重を含む)			
其他純絹物	四、三三、七九	六二	一
純絹リボン	八四、三二	四、五五、六七	二、三五、九二
(交織物)		九七、九六	一七、〇七一
起毛織物	六、三六		三、七四
其他交織物	四、七九、〇九	三、五、二六	六二、三九
リボン	八〇、七七	五九、五五	一八、七五
其他 (×服を除く)	四八、七二	一五、三九	一八、〇六

(人絹應用織物)	起毛織物(ブラシを含む)	其他種類	計
九、六五〇	一五、二七五	二、五五、九三二	二七、〇五七
二〇〇、六〇一	二四、九八三	七、〇五、三三二	二七、〇五七
八、四八	四、五四	二、七〇、〇五〇	二七、〇五七

本邦絹織物の英國輸入は一九二四年に於て二百九萬七千磅に達し一九二五年には百三十九萬三千磅に減じ一九二六年上半期には七十四萬三千磅となる

本邦絹織物英國輸入表

此表は本邦(臺灣及支那租借地方を含む)より大ブリテン及北アイルラントへ一九二五年一月より一九二六年九月まで輸出せし純絹織物の月別を示したるものなり

一九二五年	一九二六年
一月	一月
二月	二月
数量 (平方碼)	数量 (平方碼)
一、〇七、一五五	一、〇七、一五五
價額 (磅)	價額 (磅)
二〇、六七	二〇、六七
一〇、七六	一〇、七六





一部又は全部ゴム質を除きたるもの(一九二五年下半年期)

一九二五年	羽		以		外		羽		重	
	数量(平方碼)	重量(封度)	價額(磅)	數量(平方碼)	重量(封度)	價額(磅)	數量(平方碼)	重量(封度)	價額(磅)	
七月	三七五七	四三三	五三二	六八、八七五	四、五〇〇	七、四一一				
八月	一〇、九四八	九〇〇	一、三三八	一三、一八九〇	六、三三三	一、一、三三〇				
九月	八二、七四四	八、七七九	九、七四四	一六、二〇〇四	八、四四三	一、五〇、五〇〇				
十月	一〇八、三三〇	二、七三三	二、一、五四六	二七三、二六七	三、八八六	二、六、二六九				
十一月	二五九、二五五	二八、〇〇〇	二七、〇三三	二八八、一四三	一三、七三六	二、六、三六二				
十二月	二九八、五五二	三、四九一	三、七九	四九九、一九四	三、三三四	四、三、七〇九				
計	七六三、六〇六	八、三九九	八、九一四	一、四三三、三九五	七六、二五六	一、〇、一〇一				

一部又は全部ゴム質を除きたるもの(一九二六年上半年期)

一九二六年	羽		以		外		羽		重	
	數量(平方碼)	重量(封度)	價額(磅)	數量(平方碼)	重量(封度)	價額(磅)	數量(平方碼)	重量(封度)	價額(磅)	
一月	四三、四三六	四、三三六	四、五三三	七五、〇六六	三、九四八	七、二二三				

一九二五年	羽		以		外		羽		重	
	數量(平方碼)	重量(封度)	價額(磅)	數量(平方碼)	重量(封度)	價額(磅)	數量(平方碼)	重量(封度)	價額(磅)	
二月	二七三、二一五	二九、三三三	三、六、四一五	六六、一、六三三	三〇、六八四	五、七、七七一				
三月	四七六、三〇七	四八、〇四四	四、〇、九三二	八五、八、四四四	三八、一四四	七、一、八四四				
四月	五五、一八〇	五、四四〇	五、二、二一一	六九、八、五九九	三、四〇〇	五、八、七七七				
五月	五五二、七四三	五、四、九二二	五、三、七五五	一、一、七三三、七六七	五九、一、七七	一一、一、九五				
六月	六〇六、六七四	五、五九九	五、八、八六八	一、一、六、六五九	五、四、一九九	一〇〇、四八八				
小計	二、八七三、〇八四	二、八七、三三四	二、六八、九〇三	五、四、二、一三八	二、五〇、六三三	四、七、一、九四九				
七月	二、五、〇七八	二、四、〇三四	一、九、六五三	六、九四、七七七	三、〇、〇三三	五、七、七六六				
八月	三、四、八二五	三、四、〇〇〇	三、〇、九三三	五、三〇、一七九	二、八、八二二	四、八、五四一				
九月	二、八、四二二	一、五、六七五	一、三、九一〇	四、九、九七〇	二〇、六二二	三、七、五〇〇				

前表の數字を基礎として考察するときは一九二五年上半年期に於ける本邦より輸入絹織物は金額にて百十七萬八千磅に達し同年七月以降激減を來したり

一九二五年下半年期本邦より輸入せる絹織物はゴム質を除かざるもの 二千四百四十九平方碼重量二千八百廿封度價額二千六百廿二磅羽二重百四十三萬三千三百九十三平方碼

重量七万八千二百五十六封度價額十三萬二百一磅羽二重以外のもの七十六萬三千六百〇六平方碼重量八萬一千三百六十九封度價額八萬一千九百十四磅なり之を合算すれば一九二五年下半年に於ける本邦よりの輸入絹織物は

數量	二、二二一、〇四八	平方碼
重量	一六二、四四五	封度
價額	二二四、七三七	磅

にして上半期の百十七萬八千三百五十三磅に比し九十六萬三千磅の減額となる又一九二六年に入りては上半期に於て

數量	八、三〇五、七〇五	平方碼
重量	五三九、七四六	封度
價額	七四三、四九一	磅

に進み一九二五年の下半年に對し金額に於て五十二萬八千磅の増加となる

一九二五年下半年は新輸入税實施せられし時にして本邦輸入絹織物の減少は直接新に

税の影響なる哉否哉斷言の限りにあらずと雖も上半期末に於ける見越輸入は上半期の輸入額を増大ならしめたるを以て間接の影響はありしが如し一九二六年上半期に入りては順調に進みて前記の如き五十二萬八千磅の増額となる其下半年の初に當り本邦絹織物輸入の激減はコールストライキが多額の因を爲したるものなれば英國新輸入税實施の直接の影響の若干なるや濫に速斷を許さざるものありとす

### 英國市場に於ける本邦絹織物需要の狀況

本邦輸出絹織物製造家は商人の注文値段に對しより多く抵抗力を有したきものなりとの希望を洩らされたる一外商あり本邦絹織物品位下向の原因は果して製造家が注文値段に對し抵抗力少なきに因るか或は商人が粗製品を安價に買入るに在るか再說すれば其罪製造家に在るか其責商人側に歸するか原因の詮議立は暫らく措き結果より見れば今日英國に輸入せらるる羽二重は廿年前の夫に比し品質低下し朱子に於ても亦然り

どの評判を聞けり

以前羽二重の消費は七五%もありしもの現在は減少して二五%即ち僅に三分の一となる用途は婦人の寝衣、猿股、肌衣等にして六分は白の儘使用せられ四分が染色加工の後用ひらる近年羽二重の用途として増加せるは防水布生地としてレーンコートなどに向けらるゝに在り即ち六付見當の羽二重を原料としてマンチエスター方面マツダルスン井ルド邊にて染色及防水の加工を爲しレーンコートの生地向とす此材料たるべき羽二重として注意すべきは織段なきことなれば製造家は特に此缺點防止に意を用ひさるべからず近來人絹應用の防水布を材料とせるレーンコートの競争品倫敦市場に表はれ羽二重製なれば一枚五十志乃至六十志なるに人絹物なれば二分の一乃至三分の一の廿五志見當にて販賣せらる綿布製は一枚廿八志位なり(以上小賣)此等のコートは男女共に之を使用するものなるが婦人は輕きを喜ぶの故を以て羽二重を原料とせるもの現在は歓迎せらるゝと雖も人絹物の市場は表はれしは慥に注目すべき一事なりとす

クレープツションは以前九〇%まで純絹にして錫仕上は一〇%に過ぎざりしか現今は反對に九五%まで錫仕上にて純絹は僅に五%の割合を保つ狀況なり故に新聞紙上にて近頃の婦人は錫を着て歩くか如しとまで評する程なり然らば何故に錫仕上品か斯様に顧客の購買心を唆り一般に需要せらるゝに至りしやの理由は一言以て之を約すれば價格關係にして錫仕上品が比較的低廉なるに在り本邦品十付の縮緬と瑞西の錫仕上品にして一見十四付位かと思はるる縮緬とか約同一値段にて販賣せらるゝを見たり而して流行變化激甚なる關係上耐久力に就ては餘り多く顧慮せざるものゝ如し又本邦製純絹の縮緬は仕立屋にて重ねて裁斷するに際し取扱上の不便あれども錫仕上品は此場合に便宜ありといはれし人あり參考として茲に記す

本邦縮緬に錫仕上を施すことの利害得失につき倫敦大百貨店絹物主任某氏の意見を叩きたるに純絹なるへきを利益と認む若し日本縮緬に錫仕上を施すとせば一時的利益なるか如しと雖も純絹にて築き上げたる名聲を失墜し不利を招くものなるへしとの個人



意見を洩らされたり

絹紬 の用途は大体に於て米國の如く小供服婦人家庭服窓掛等にして之か競争品は又支那絹紬あり邦商絹物主任某氏の意見として改良すへき要点の一は耳の不揃なるに在り此欠点は單に体裁上不快なるのみならず裁斷の際作業意の如くならずといふ

富士絹 としてPK印か信用ありて富士絹の代名詞の如く呼ばれ取引せらるゝ狀況なりPKか此の如く勢力を有するに至りし原因の一は廣告宣傳に努めしに因るものなりといふを聞き其効果の顯著なる今更ながら感動せざるを得ず

英國市場に限らされどもポブリンの如き高級綿布は其光澤に於て味に於て富士絹の強敵なりとす

## 英國の新輸入税

一九二五年七月一日實施の新輸入税中絹織物に關する分を摘録すれば次の如し

ゴム質を除かざるもの 一封度 五志三片

全部或は一部ゴム質を除きたるもの

ノイール織物 一封度 一志七片

羽二重として知られたるものにして

染色或は捺練せざるもの 一封度 六志六片

其他の織物 一封度 七志九片

此新輸入税法適用以前に於ける羽二重の税率は其他の織物中に包含せられ一封度に付七志九片の輸入税を課せらるへき規定なりしか大藏當局の考慮及内外商の陳情等により特に羽二重として知られたるものにして染色或は捺練せざるものの一項目を設け六志六片に低下せられしなり蓋し羽二重は一般労働者の着料とし必需品にして肌衣など

にも使用せらるるものなれば其輸入税率の高きは労働者の生活に若干の脅威を加ふものなりとの理由の下に再考せられしものならんと推測す

支那絹紬はゴム質を除かざるものと認められ五志三片の税率を課せられ本邦絹紬は其他の織物縮緬ジョーゼット、ニノン、朱子富士絹等の部にて取扱はれ七志志九片の課税を受く

倫敦三菱商事會社支店絹物部にて作製せられし本邦絹織物輸入税表は一目瞭然參考たるべきを以て次に之を表示せん

本邦絹織物輸入税表

羽二重 輸入税金一封度に付六志六片

目付	三吋五碼	二吋五碼	三碼五吋	三吋六碼
三、	四志九片	五志八片 $\frac{1}{4}$	七志七片	—
三、五	五志三片	六志二片	八志二片 $\frac{1}{4}$	—

三、五	五志六片 $\frac{1}{2}$	六志七片 $\frac{1}{4}$	八志二片 $\frac{1}{4}$	—
三、七、五	五志二片 $\frac{1}{4}$	七志二片 $\frac{1}{2}$	九志五片 $\frac{1}{4}$	—
四、	六志三片 $\frac{1}{4}$	七志七片	一〇志一片 $\frac{1}{2}$	—
四、五	七志一片 $\frac{1}{2}$	八志六片 $\frac{1}{4}$	一〇志四片 $\frac{1}{2}$	—
五、	七志〇片 $\frac{1}{4}$	九志五片 $\frac{1}{4}$	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
五、五	八志八片 $\frac{1}{4}$	一〇志五片	一〇志二片	—
六、	九志五片 $\frac{1}{4}$	一〇志四片 $\frac{1}{2}$	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
六、五	一〇志三片 $\frac{1}{4}$	一〇志四片	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
七、	一〇志〇片 $\frac{1}{4}$	一〇志三片 $\frac{1}{4}$	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
七、五	—	—	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
八、	—	—	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
九、	—	—	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
一〇、	—	—	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
一〇、	—	—	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
一三、	—	—	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—
一四、	—	—	一〇志二片 $\frac{1}{4}$	—



## 英國綿業界の通覽

### 英國綿業の大体

綿糸紡績錠數約六千万即ち世界錠數一億七千万の約三分の一を有し綿力織機見積臺數七十八萬六千即ち八十萬に近く世界總綿力織機數三百十八萬臺の約四分の一實に世界に冠たる綿業國は英國なるへし一九二三年即ち歐洲大戰前に於て七十億碼の綿布を海外に輸出して綿布市場に堂々たる勢力を獨占せり其品種の四大別は生木綿、晒、更紗、染の四種にして加工品の輸出は年々漸増の傾向を示しつつあり今其歩合を表示すれば次の如し

### 英國輸出綿布每四箇年平均各種歩合表

輸出總額に對する比率(在リッアップール益子帝國領事報告の一節による)

年次	生木綿	晒	更紗	染
一九〇一—三	三八、四	二六、七	一八、四	一六、五〇
一九〇四—七	三六、四	二七、三	一七、七	一八、一五
一九〇八—二	三三、七	二七、六	一八、四	一九、三
一九二一—五	三三、六	二九、六	一六、〇	一九、六
一九六一—九	三三、三	三三、六	一九、三	三三、七
一九〇一—三	二八、三	三三、三	一七、九	三三、六

### 英國綿布輸出總年額

(テキスタイルマニユルリチュエアライイアーアツク一九二七年分抄録)

年次	數量
一九〇五	六、一九六、七八三、〇〇〇 (碼)
一九〇六	六、二六〇、七七一、九〇〇 同
一九〇七	六、二九七、七〇七、四〇〇 同
一九〇八	五、五三〇、八〇八、九〇〇 同



一九〇九	五、七二二、一五八、五〇〇	同
一九一〇	六、〇一八、四五四、一四〇	同
一九一一	六、六五三、一六三、九〇〇	同
一九一二	六、九一二、六二五、八〇〇	同
一九一三	七、〇七五、五四八、四〇〇	同
一九一四	五、七三五、八五四、七〇〇	同
一九一五	四、七四五、七三三、六〇〇	同
一九一六	五、二五五、五〇三、九〇〇	同
一九一七	四、九七九、〇七六、九〇〇	同
一九一八	三、六九五、七七二、一〇〇	同
一九一九	三、五二八、七五六、六〇〇	同
一九二〇	四、四三五、四〇五、〇〇〇	同
一九二一	二、九〇二、二八八、九〇〇	同
一九二二	四、一八三、七二九、一〇〇	同

(平方碼)

一九二三	四、一四〇、二三一、九〇〇	同
一九二四	四、四四三、九五九、五〇〇	同
一九二五	四、四三三、七四五、〇〇〇	同
一九二六(見込)	四、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	同

前表に見るか如く英國綿布の総輸出數量は戦前に於て六十億碼内外を往來し一九二二年に於て六十九億碼となり一九一三年には七十億碼を突破て其價格八千萬磅に近き黃金時代を現出せり爾來遞減の傾向を呈したりと雖も一九二六年の見込輸出數量尙且つ四十億平方碼を算す一九二四年に於ける輸出綿布の價額は一億五千三百四十六万一千磅なりりいへは英國輸出綿布は數量に於て減少し價額に於て増加せし結果となる

世界綿業一覽

國名	工場數	錘數	織機數	綿消費(捆)	職工數
大ブリテン(6)	一九一〇	六、二五、五六	七六、三九	三〇七、九三	三、〇〇〇

北合衆國 (5)	七三	10,000,000	四三,四三三	二,五二,三九九	三,八〇,一〇九
南合衆國 (6)	九七六	一七,六九,〇〇〇	三六,七七八	四,七八,九九九	一,八六,〇〇〇
露西亞 (6)	一七	10,107,500	一五,〇七三	六九,一七四	四,五九,〇〇〇
獨逸 (6)	△ 五三	10,000,000	二四,〇〇〇	一,六七,〇〇〇	三,五五,〇〇〇
佛蘭西 (6)	五五	九,五〇,〇〇〇	一八,一五〇	一,一五,〇〇〇	一,九八,五〇〇
印度 (5)	三三	八,五〇,〇〇〇	一四,〇三三	二,三三,三三〇	三,七六,八七七
日本 (6)	二四三	五,一五三,〇〇〇	七,一七三	二,二二,〇〇〇	一,四一,四〇〇
伊太利 (6)	七〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇〇〇	六〇,〇〇〇	一五,〇〇,〇〇〇
其他を合して計	七,七五五	一七,〇二二,〇〇〇	三,一八四,〇六一	二四,三九五,五七九	三,八〇三,一〇九

備考 鍾數五百萬鍾以上、未滿を省く  
十西部の州を包む

△前の統計

(6)は一九二六年(5)は一九二五年の略本表はテキスタイル、マニユファクチュ

ユララー、イアー、フック一九二七年分抄録

英國綿業の中心たるマンチエスター地方に巡遊せしは一九二六年十一月なりしか當時も一部休鍾せる状態にて必ずしも常に樂觀的材料のみを有するにあらず且つ恰もコールストライキ中にして之が爲受くる影響また少なからずと雖も大体論としてはマニチエスターが世界の綿業地たるは何人も争はざる所なるへし然らば如何にしてマンチエスターが此の如く發展せしや其原因如何、マンチエスターは十四世紀に起り最初のコットンミルの開かれしは一七八一年にして天候關係石炭の供給、機械工業の發達等其因を爲して綿業が進展せしとは異口同音に唱ふる所なり项目的ながら心付きたる個條を左に

一、マンチエスター氣質 總て地方には地方的氣質ありマンチエスター又マンチエスター氣質なかるへからず自己のことは他に依頼することなく自己にて之を仕遂くへしとの觀念特に強きか所謂マンチエスター氣質にして此氣質こそ綿業發展の基礎なりと

力説せる人あり

二、天候 マンチエスターの天候は濕潤にして紡織に適したる土地柄なり天候の關係にや其地方人は外出に傘を携帯する習慣多し倫敦などにて傘を持ちて路行く人を見れば彼はマンチエスターより來りしかといふ程なり此の如き天惠の濕度か綿業の發達を助勢す

三、石炭 英國は石炭の大産地にして一九二五年中の一ヶ月平均二千萬噸にして歐米主要石炭國中米國の全年に於ける月平均四千三百萬噸に次ぐ第二の石炭國なり（一九二六年の平均月産はストライキの爲千萬噸）しかもマンヌスター附近に石炭の産地ありて之か供給の便宜は機械工業の隆昌と相俟て綿業を進歩せしむ

四、機械工業 紡機織機の發明蒸汽機關の夫と並に此等の應用は最も力強く綿業を振興せしめたり

五、運河の開鑿 本項かマンチエスター綿業發達に至大の關係を有するものなりとは

嘗て聞き及ひし所なるか其實際を見るにつけ之に裏書するを得たり此運河はマンチエスター、リザアプール間水路の連絡を謀るものにして長さ三十五哩半深さ廿八尺底の最短巾百二十尺を有す一八八七年工を起し一八九四年其工成る此八ヶ年間費用を投すること約千七百萬磅にして一万二千八百五十噸の船舶は優に航行して所謂マンチエスター港に入ることを得べく之か爲原料製品等の運輸上如何に利便を得たるや之を知るべからず

六、アツジシエーションの活動 聞く英國には三個のCあり Contest (討論) Con-ferance (商議) Com promise (妥協) 是なり英國は個人主張強れけは言ふべきは言ひ論すへきは論し十分討商議を重ねたる上にて小異を捨てと大同につき一致点を求むれば妥協して戮力同心事に當る綿業發展上大に與つて力あるは當業者のアツンシエーションの設立なり二の例を擧ぐたはマンチエスターに於ける Calico Printer's Association、ラッドフォードに於ける Bradford Dyer's Associationの如き類是なり此等のアツンシエ



— ショーンには夫々一定の規約あること勿論なれども大体に於て當事者に一任する方針を取り協同の實を擧ぐると聞く上海市場に於て異彩を放つボブリン B D A 印は即ち Bradford Dyer's Association の加工品なりとす

因に先年商工省技師大山清一郎氏が福井市に間かれたる綿検査員打合會の席上にて上海市場に於ける日英兩國商人の取引振を比較しし説述せられしことあり曰く英國商人は一定の標準價格を定め絶對的にあらされども價格の亂高下を避け顧客の來るを待つて賣つてあけるといふ体度なり無精の様に見ゆれども泰然として動かさること山の如しとも言はんか再言すれば英商は品質本位にて受動的の賣買をなす邦商は一見機敏に似たる賣込を爲し價格本位にて廉賣主義を爲し廉賣を過ぎて投資に陥ることあるを憾とす賣つてやるてふ体度に出てすして買つて貰ひたいと働きかくなり約言すれば價格引下げ主義にて主動的なり賣急きを爲すものなり云々先年の記憶を辿り參考として茲に陳記す

且つ夫れ英國は世界中船舶噸數を最も多く所有するものにして百噸以上の船舶の總噸數は千九百十万五千八百卅八噸即ち二千萬噸に近く世界總噸數の三分の一を占め其領土は廣く世界に散在す英國綿布の販路擴張せらるる故なきにあらず

#### 英國紡績界雜錄

英國紡績界は戰時熱狂時代に於ては勿論好影響を蒙り其好況の勢に乗し多くは増資を爲し現状を維持せるものは二十八工場にして其數三十に満たす而して現状維持の主義を取りたるものは概して成績良好にて今日に至る好況時に於てはケタ違ひの配當を爲したるものありしか近時は二—三割の配當を爲すものあれども平均せは六分位の配當ならんか

一工場の有する紡績錘數 多きは六十万錘に及ふものあれども普通は八萬乃至十二萬錘にして平均は十萬錘内外なり



紡績綿糸の種類 は二十番三十番五十番六十番を中心として紡績す中細三十二番を中心とせる工場は太物を製産するか如きことなく事業經營は番手の専門別とするか本体なり換言すれば綿糸の細太に應じ大体紡績分野を定めおくもの、如し

原綿 の取引市場はマンチエスターを距る僅に三十數哩なるリヴァプールにして米綿七〇%を占む而して紡績すべき綿糸の細大用途等に就き原綿の選擇に周到なる注意を拂ひ使用せらるべき綿布の性質用途等の要件に適應せしめんことを努む

職工鍾の受持數 ミニールにて本邦職工は一人二百鍾を受持つと雖もオールダムにては八百鍾即ち四倍の負擔力あり

職工の世襲的 職工の子弟は又職工として社會に立たんことを期し現在職工たる人自身も亦其仕事を勤績せんとするの意圖あり之れ老年工を工場にてよく見受くる所以なるべし此の如く一家の家長は紡績職工として終生身を之に委ねんとし子弟又其職を繼續せんとするの意志あり一家舉つて紡績若くは其關係の勞役に従事し家族共稼にて收入を謀る故に家族的収入比較的多く隨て社員格の生活より割合に裕福なるものあるが如し

職工に對する制裁 紡績工場の規律は整然たるものにして稀に起る職工の欠勤遅刻に對しては遠慮なく制裁を加へ賞罰を明かにす無斷欠勤すれば之を解雇し遅刻すれば給料の減給を爲し女工にも惰子拭などを爲さしむるといふ

職工には相當の教育あり或意味に於て使役し難き代りに自ら進んで製産能率の増進を謀る美風あり又寄宿舎の設備なく通勤するを普通とす

紡績工場の事務 本邦の工場と其取扱振を異にするを以て割合に多くの事務員を要せず假に千萬鍾の工場とせば本邦にては蓋し約四十人の事務員を要すべしと雖も英國にては僅々四—五名にて事務を處理す之れ其組織が然らしむるなり一二の例を擧ぐれば原料の買入は市場に於てし製品の販賣は賣子に之を托す丈それ丈人手を省き得るなり但し賣子は競争的製品を造らざる工場の掛持を爲し以て製品の販賣を取扱ふものとす

之を要するに本邦紡績界にて事務所内に爲さるる仕事は外部の機關にて行ひ得る組織なれば單に彼は五人我は四十人なりとて其數のみにて一概にいふこと能はざるなり本邦紡績事務所に於て多くの人手を要するを餘義なからしむる他の仕事は職工募集なり之が爲本邦にては多大の人手と費用とを要すれども英國にては職工募集に左程の勞苦を費すことなく新聞廣告にても之を吸収することを得べく或は自己工場在勤の職工家産訪問の手段にても相當効果を収むることを得べく斯様に事務員の數を割合に多く要せざるなり

機械修繕部 の如きも自己の工場内に設備すべき大なる必要なしオールダムにはブラツトブラザアースの如き多年の經驗を有する大工場あるを以て之を利用すれば事欠くことなし否特別に自己の工場内に修繕部を設くるの要なきのみならず反て便益多しとす

一言之を約すればマンチエスター地方の天地は綿業の空氣を以て充滿せるものと謂つ

べし

### コールストライキの輪廓

世界の耳目を聳動せる英國のコールストライキに就ては關係の頗る大なるに驚きたり昨年十月中倫敦に入るや繁華の中心にして常時なれば電燈の光り眩く晝を欺く程のピカデリーサーガスも比較的稍暗く家々はコールの消費制限の止むなき實情に襲はれ汽車も定時の運轉に若干の變動を餘儀なくせられ現に生等のマンチエスター行の如き霧深き日に倫敦ユーストン停車場にて豫定列車の取消に遭遇して狼狽せしことあり此の如きはコールストライキが及ぼしたる影響の一端の一端に過ぎず

抑コールは英國産業の基礎其革新の中心なり之が勞働者の數はストライキ前百十一万と稱せらることはコール關係勞働者にして失業保險に登録せられし數字なれば其の以外を加ふれば百三十萬人にも達すべし而して工業勞働者の數は農業家内工業に關するも

のを除き其數實に六七百萬を算す戦後發達せし労働組合は最高の員數六百萬現在は減少して約四百萬人内炭坑夫の加入せるもの百萬なれば其勢力は大なるものあり労働組合を中心として坑夫の選出せる代議士は四十九名を占むるものなれば政治的にも大關係あり元來英國は歐米諸國中米國に次ぐ大石炭産地にして年産額は一九二四年に於て二億七千萬噸(佛噸)に上り其輸出額は全輸出價額に對し約一割乃至一割四分に相當す故に其輸出が杜絶するにせば運賃にも響影を及ぼすべしコールストライキは直接には石炭の産額延ひて各種の産業に大なる盛衰消長の關係を有するればコールストライキは産業的にも政治的にも社會的にも重大視すべき問題なり

一九二六年五月より同年十一月に亘る七ヶ月のコールストライキの發端は一九二五年六月三十日資本主側より労働者に對し賃銀協定破棄の最後の通告を爲せしに起る先是勞資間賃銀の協定を爲さんとし一九一四年の平均賃銀を以て標準賃銀とし其二〇%増にて賃銀を定め坑主の標準利得は賃銀の一七%とし以上二者と生産費の三者を收入よ

り差引きたる總額は坑主十八%労働者八十二%の割合にて分配することとせり此の如くするときは労働者の收入多きに似たりと雖も其實生産費の算定關係上労働者の利益は意外に多からず

ルール古領の結果英國の炭價は約倍額となりしに生活指數は一八五に上りたれば一九二三年一月以降引續き勞資間の問題となり一九二四年再賃限の協定を爲し従前の二〇%増を三三%三分の一増として賃銀を高め坑主の標準利得賃銀の十七%を十三%に減率し勞資の分配率を労働者八十七%坑主十三%とせり於是労働者は利益の立場に在るを以て愁眉を開きしが石炭界の好況も長く繼續せず反動によりて惡化し英國の炭業不振に向ひ坑主は石炭の市價は之を高むること能はず賃銀の協定を守ること能はざる状態となり茲に坑主側より協定變更を申出でたるが今回のコールストライキの問題の發端なり即ち一九二五年六月三十日坑主は賃銀協定破棄の最後の通告を爲すと共に従來七時間労働を八時間となすべく要求し且つ賃銀の協定には中央なる炭坑夫組合を認め



す地方的に之が協定を爲さんとす茲に勞賃の提携破れ遂に所謂コールストライキとなり勞働組合は死力を盡して之が援助を爲し一九二五年八月有名なる炭坑補助金の支出となり政府は賃銀補助として坑主の利得を保証することとなり斯くて一九二五年八月一日より翌二六年四月三十日まで補助金を與ふることとし其間に於て勞資協定成立せしむべき希望を抱かれたるものゝ如し然るに一九二五年八月以來不幸にして英國の炭業界は景氣良好ならず九ヶ月間補助金の支出額は二千百五十萬磅の巨額に達したり政府は此の如く多額の補助金を支出せしと共にサミュエル調査會を組織してコール問題を調査せしめたり同調査會は毎回實地家の參考人を招集し以て現場の調査をも行ひたり一九二六年三月發表せられたる結果の内容は極めて豊富なるものなるが極めて其大體を摘録すれば次の如し

- (一) コール國營は絶對に不可なること(一九一九年英國にては炭業を國營と爲さんとせしが之が實現を見るに至らず)

- (二) 勞働時間は現在七時間なれども坑夫の實際勞働は七時間半なり更に八時間になすに及ばず又賃銀も現狀維持にて然るべし

- (三) 賃銀の協定は地方的とせず全國的たるべし

サミュエル調査會の意見は國營説に關する分を除き大體に於て坑夫側の意見と一致せり而して最後に政府は賃銀の値下を爲さしめんとせしが勞働者はサミュエル調査會の意見の實行を要望し爲に其問題は解決を見るに至らず四月三十日頃の英國の空氣は頗ぶる緊張せり五月一日全國組合代表集合して二三日間政府に交渉せり其際デーリーメールの職工ストライキを起し五月四日より愈繼ストライキとなり鐵道、運輸、印刷、造船、機械、炭坑を第一期とし人員二百五十萬に達せしといふ

コールストライキにつき炭坑地方は殺氣立ち爲に軍隊の出動せしことなきにあらざりしが勞働者は紳士的態度にて輕舉妄動に出でざりしは敬服する所なり

此コールストライキなる大問題も幸に半年餘にして落着せしが其及ぼしたる影響は頗



ふる大なるものあり英國の蒙りたる直接の損失のみにて數十億に達すべしといふ

佛國市場に於ける—  
—本邦絹織物調査—

## 佛國に於ける絹織物調査

### 佛國絹業概班

佛國絹業地として先づ指を屈すべきは里昂にして之に次ぐはサツテツセンヌなりサツテツセンヌは主としてリボンを産し其約半額は輸出すといふ一九二四年の統計に據れば佛國絹織物年産額は三十九億三千三百萬法にして内里昂は三十四億六千六百萬法サツテツセンヌは四億六千七百萬法を産すといへば里昂はサツテツセンヌの七倍以上を製出し一九二四年の海外輸出額三十二億二千四百萬法に達す近年米國は絹業に於ても猛進的發展を遂げ其製産額は邦貨十五六億圓に上り世界に冠たり然れども里昂は又里昂として大に見るべき所ありとす

里昂絹業起原の大畧 第十五世紀の中葉既に里昂に若干臺の織機存在せしは之を認め得れども明確に知られたるは一五三六年（三九一年前）の頃なり當時伊太利ゼノア人

二名里昂に來りソーヌ河の上に工場を設け紋天鷲絨の製織を開始せしが之に勵まされ  
 數多の製織者輩出せりと云ふ

起原此の如く紋物に在りし爲にや現時縮緬の如き織物をも産出すと雖も紋物に特別な  
 る手腕を有す而して里昂に於ける代表的織物地帯は Croix noisse (クロアルス) にし  
 て織工場は小丘上に散在す試に此地帯を探らんか一廣場に紋織機發明者ジャカード氏  
 の像が建設せられあるなど何處までも紋織物氣分を味ふことを得べし

里昂絹工業の輪廓を知らしめんが爲其概略を記せば次の如し(一九二四年分)

絹製糸業	絹糸釜數	四、〇三三
	附屬釜數	一一、〇三六
絹紡糸業	紡錘數	一三三、四四四
燃糸業	錘數	一、〇五三、四七六
繰糸業	繰糸機數	二七八、〇四〇
金銀糸業	金銀糸製造機	六八、八五一

織機	手織機	五、四一三
	力織機	四五、四五四

機械に於ては手織機年々漸減し力織機之に代りて増加すべしとは何人も想像する所に  
 して一九一四年里昂商業會議所の統計に表はれたる手織機數は一萬七千二百七十臺之  
 を前表の五千四百十三臺と比較すれば十ヶ年間に手織機は一萬一千八百五十七臺の減  
 少となる即ち三分の一以下に減退せり之に反して力織機數は一九一四年の四萬七百六  
 十六臺に對し一割の増加にて十年後の一九二四年には四萬五千四百五十四臺に達す更  
 に參者として次表を掲ぐ

年別	力織機數
一八八〇	一八、八二八
一八九四	二五、〇〇八
一九〇〇	三〇、六八八

一九一四 四〇、七六六  
 一九二四 四五、四五四

### 佛國絹織物用生糸

實用向絹織物として世界に覇を唱ふる米國は其原料たる生糸の全部を輸入に仰ぎ美術的絹織物として世界に冠たる佛國が原糸の大部分を輸入し之を加工して優良品を海外に輸出し而して佛國に輸入せらるる生糸は支那、伊太利及日本製にして歩合の大体は支那生糸五〇%伊太利生糸二五%日本製一二%位なるべしと概算計算を唱ふるを聞けり右の歩合は大体の見込に過ぎざれども支那生糸最も多く日本生糸最も少なく伊太利生糸は其中間に位するは事實なり而して支那生糸は本邦生糸に比し繰返の場合に切斷同數多き不利あれども比較的織度均一に價格又低廉なる等の点により使用せらるる其應用の範圍も廣く一般織物の原糸たる燃糸より靴下などの原糸佛蘭西縮緬及マロケンク

レープの緯及經、朱子、天鷲絨等にも及び應用の巧妙なる敬服に値するものあり

### 佛國にて消化すべき生糸年額概算見込

計	佛國物	本邦物品	伊太利物	上海物	廣東物
	110,000		1,866,000	19,107	2,760
					(擔)
					換算 (俵)
	26,300		18,427	3,633	3,633
				15,285	3,263
					19,256
					19,256
					19,256
					19,256

前表は極めて大膽なる見込なれども今假に之に従ふとせば使用數量の歩合は次の如し

支那生糸 四二%  
 伊太利生糸 三四%  
 本邦生糸 二〇%



佛國産生糸 四%  
計 一〇〇%

十二ケ年間里昂に於ける各年平均  
生糸相場 (一基建單位法)

年次	系	價	年次	系	價
一九一三年		四八	一九一四年		五一
一九一五年		五〇	一九一六年		六八
一九一七年		九二	一九一八年		一〇七
一九一九年		一六〇	一九二〇年		三〇〇
一九二一年		一八一	一九二二年		二二三
一九二三年		三一〇	一九二四年		二九〇

此表に據れば一九二〇年の三〇〇法、一九二三年の三二〇法一九二四年の二九〇法が平均相場の最高の部に屬するものなり

一九二七年初頭里昂に於ける生糸の相場は大体次の如し (十四中一基建)

廣東物	二二五法	上海物	三八〇法
佛國物	三九五法	伊太利物	三六〇法
本邦物 (最上)	三四五法		
(ダブルエキストラ)			

今右の相場により假想表を製作すれば次の如き數字を得べし

佛國にて消化すべき生糸年額假想表

品名	數量 (基)	見込價額 (法)	備考
廣東物	一四九, 五〇〇	三三, 七三三, 〇〇〇	一基二二五法として
上海物	九七, 一〇〇	三〇, 八四六, 〇〇〇	一基三八〇法として
伊太利物	一八七, 六〇〇	六九, 六五五, 〇〇〇	一基三六〇法として
本邦物	一, 一〇五, 〇〇〇	三六, 三三三, 〇〇〇	一基三四五法として

佛 國 物	三、三〇〇、〇〇〇	一、〇三九、五七五、〇〇〇	一〇三、九五五、〇〇〇
計	五、三〇〇、〇〇〇	一、〇三九、五七五、〇〇〇	一〇三、九五五、〇〇〇

里昂絹工業製産概表 (單位千法)

品 種 別	一九二四年	一九二五年
純絹又は純絹紡平織物	四七〇、〇〇〇	五三〇、〇〇〇
純絹又は純絹紡綾織物	三九〇、〇〇〇	四八〇、〇〇〇
金銀糸交織物 (近東印度向)	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇
絹又は絹紡交織平織物	一五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
絹又は絹紡交織綾織物	六〇、〇〇〇	八五、〇〇〇
純絹天鵞絨及ブラッシ	六五、〇〇〇	七五、〇〇〇
交織天鵞絨及ブラッシ	三九、〇〇〇	五〇、〇〇〇
モスリシ摺織及縮緬	一〇五、〇〇〇	一、五八四、〇〇〇
家具用絹紡織物	四、〇〇〇	三、〇〇〇

計	一九二四年	一九二五年
人造絹織物	二、四九〇、〇〇〇	三、〇一〇、〇〇〇
シニール及レース	八〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
金屬線組物及飾紐類	三三〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇
其他纖維製組物	一四、〇〇〇	一五、〇〇〇
計	三、二六〇、〇〇〇	四、一八八、〇〇〇
其他絹織物の交織物	一五〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
平織捺染織物	三、四四八、〇〇〇	四、二八八、〇〇〇
純毛織物	一八、〇〇〇	二二、〇〇〇
總計	三、四六六、〇〇〇	四、三〇〇、〇〇〇

一九二五年の總製産額四十三億法の内三十五億六千九百九十五萬六千法の輸出及び一億八千四百六十六萬六千法の外國小包郵便あるを以て八割七分は外國輸出に一割三分は内國消費に當てられたるなり

## 佛國に於ける絹市場

花の都或は光の都なりと誇る佛國巴里は絹物の消費地にして其の市場は巴里にあらずして里昂に在り故に巴里の百貨店の如き里昂に支店を設置して絹物を仕入れ染色すべきものは其加工を爲して之を巴里に輸送す約六十年前當時亞細亞絹の輸入を獨占せし倫敦の地位を奪ひ世界最大の絹物市場たる里昂も過去三十年來勃興せし米國の絹業發達の爲に壓倒せられしが尙歐米最大市場の一にして絹物の製産を爲すと同時に其外國製品も亦此所に集散す里昂當業者が今尙一大勢力を有するはいふまでもなく同地絹業取引業者は世界須要の地に代理店又は代表者を有し又工場をも經理せるを以て佛國內の産高又は輸出高のみにては同國絹業の一般を了解すること能はざれども大体の趨勢は前記の如く一九二五年に於て四十三億法の製産ありとす

## 本邦絹織物の需要狀況

羽二重 二十年程以前は尺五寸物賣行多かりしが近年二尺四寸となれり蓋し仕立上の便宜と廣巾の方割安なるが爲なるべし用途は下衣或は裏地なり目付は六匁付見當より十二匁乃至十四匁付に至る重目物はシャツ地に使用せられ遊覽客向として販賣せらる外國製品にして本邦羽二重の競争品たるものはトワーツザー（富士絹の如きもの）西班牙産輕目日本羽二重など（産額少數ながら）あり（米國市場の部参照）

佛國貿易年表に據れば本邦羽二重の佛國輸入は一九一三年に於て四十萬五千基其價額二千二百三十一萬法なりしが一九一九年に至りては重量減少して二十二萬八千基其價額四千四百四十六萬六千基となる即ち重量に於て激減し價額に於て反對に於て激増せしなり然るに一九二五年の統計によれば本邦より輸入する絹織物の價額一千九百九十二萬五千法にして戦前に於ける羽二重のみの輸入價額より減退せり

# 佛國絹織物輸出入

佛國にて輸入する絹織物

國別表 (單位千法)

國別	一九二四年	一九二五年
本邦	三一,〇七二	一九,九二五
瑞西	二六,〇四五	二四,三二五
英國	一九,六一〇	一九,五二四
伊太	一,八七一〇	一六,八四二
佛蘭	六,六一八	八,七八六
印度	二,四一五	一七五三
獨逸	七七	三三七
西班牙	六,四七五	一一,五三二
其他	一一一,〇三二	一〇九,〇二四
計		

右表に就て見るに一九二四年に於ける本邦絹織物の佛國輸入は價額三千百萬法に上り第一位を占む一九二五年に至りては約百萬法を減して約二千萬法となり第一位を瑞西に譲りしと雖も尙且つ第二位に在り

佛國にて輸入する絹織物

品種別表 (單位千法)

品種別	一九二三年	一九二四年	一九二五年
緻密なる絹織物	三,七五五	三,〇二九	三,五二九
絹紡物或は其交織物	一,二九八	二,七〇一	四,四九二
練晒或は染色物	—	—	一四,二九七
紋物	二五,〇四七	三,五〇七	八,八八二
縮緬、絹紡縮緬或は交織物	一五,五三二	三,三三六	一八,二四一
絹	—	—	一,五九六



品種別	一九二三年	一九二五年
天鵞絨及ブラッシ (絹、絹紡或は交織)リボンを除く 絹、絹紡或は交織リボン	四八	四九
天鵞絨及ブラッシ	三六五	三〇七
其他	一四	—
人絹物或は交織物	一八八	二八五
其他	五、二七	八一七
其他レース飾、靴下等	五、三八	五、七四
計	八五、二〇一	一一、〇三三

佛國絹物輸出品種別表 (單位千法)

品種別	一九二三年	一九二五年
縮緬、絹紡縮緬或は交織物	—	三、九〇五
飾	—	—
絹網及レース	九七、七三〇	七六、四五〇
天鵞絨及ブラッシ (絹、或は交織物)リボンを除く 絹、絹紡或は交織レース飾	六四、九八四	六六、八〇七
同上	一〇六、五二六	五八、五六一
天鵞絨及ブラッシ	三三、三三三	三、六三三
其他	一一〇、三七五	一八、三三五
其他	二、九七四	四、六四四
人絹物或は交織物	四〇、〇八五	二五八、〇六五
其他	一七六、五九六	三三二、八七三
計	二、〇八三、四六六	三、五九九、九六五
小包	一〇〇、七五五	一八四、六六六
計	二、一八四、二二一	三、七五四、六三三

佛國絹織物輸出國別表 (單位千法)

向	一九一三年	一九二四年	一九二五年
仕先	二	一、三三	一、六七七
瑞典	二	一、三三	一、六七七
挪威	二	一、三三	一、六七七
英國	二、三四一	一、四三、七五	一、六五、七五
獨逸	九、八三〇	一四八、三三	七三、〇六八
和蘭	三〇	六、九二	七、〇八八
白耳	三、〇五六	三〇、九七九	二七、八六一
瑞西	一八、四九	一七九、〇〇	一七〇、七四
西班牙	一、八五九	三、七三〇	一七、八八八
チエツコス	—	一、三三〇	四八
イタ	三、七三	七、三三	七、四七五
伊太	一、五	三、四六	二、七〇
日	四、七九	四、五	四九、三六
合衆	—	—	—

伯刺西爾	五、八	一八、二四	二七、〇三
亞爾然陀	三、六八	二六、四四	一五〇、一三
加奈陀	二、一九	八四、五七	八二、六二
アルゼリア(北アフリカ)	八八	三、九七	二、九八
チュニス(アフリカ)	三、四	六、六八	四、九五
モロッコ(アフリカ)	—	六、三三	二、七三
セネガル(アフリカ)	—	七	一、七〇
マダガスカル(アフリカ)	二、九	二、三三	五、八七
印度支那	八四	二、三三	四、三〇
其他殖民地及保護國其他の諸國	五、四六	四、五、六八	四〇〇、七〇
計	三、七〇	三、〇、一、四	三、五、九、九
外國小包郵便	四、三、三	二、〇、二、二	一、八、三、三
合計	四、三、三	三、三、四、五、六	三、七、四、三、三

一九二五年輸出國別につき一億法以上を輸出する仕向國に對し考ふるに第一位を占む

るものは英國の約十七億法にして總輸出金額の四割七分に相當し第二は合衆國の約四億法にて一割一分に當る白耳義の二億七千萬法瑞西の一億七千萬法亞爾然丁の一億五千萬法順次其下位に在り加奈陀への輸出額は一億法未滿なれども尙八千萬法を算し上得意先の一たるを失はず

### 佛國の關稅

佛國の關稅は從量稅にして本邦輸出絹織物に關係深きものを摘録すれば次の如し

羽二重

生 一キロ

三法七五

練 一キロ

六、〇〇

絹 紬

生及練 一キロ

三法七五

羽二重絹紬以外の縮緬等

生及練 一キロ

九法〇〇

此稅額に對し二十三割の割増あり尙昭和二年一月より其上に六割を増加することなるを以て練羽二重の關稅は次式の如く一キロに付二二、〇八法となる

$$6 \times 2.3 \times 1.6 = 22.08$$

尙輸入の際價格と關稅との和の二分を納入する定めありとす

### 服裝の流行

服裝の流行特に衣物の色、柄等の流行は近年紐育が大勢力を有すれども從來巴里が世界の流行中心と稱せらる巴里の流行が倫敦へ波及する以前に於て先づ大西洋を越へて紐育に移り次て倫敦に入る何故に英吉利海峽を亘りて倫敦へ先に來らざる哉と疑ひしが蓋し流行の傳播は必ずしも距離の遠近にあらずして生活程度如何土地の狀況等に因るものなるべし而して巴里の流行は如何にしてつくらるるか其一大中心は仕立屋に在

り即ち勢力ある代表的の仕立屋相集りて協定し比較的低廉にして適當なる原料を選択し之を應用すへきを主眼とし大体の標準を定め然後各仕立屋は協定せる範圍内に於て帽子の格構衣物の形狀、色、柄合等に付夫々所屬の意匠考案部にて之が工夫を凝らして作製し巴里近郊に催さるゝ大競馬の際身長格構整ひたる婦人をして適當なる服裝を爲さしめ競馬場を徘徊せしめ以て衆目集中の標的とし流行の源泉たらしむるなり

斯様に服裝流行の種を蒔き活人畫的に巴里幾百萬の群集に示し次て人形應用陳列に移るものゝ如し巴里百貨店に重なるもの四あり (Printemps) プランタンの如きは其一なり見上ぐる斗りの圓筒形飾窓内の人形陳列は通行人の足を止め購買心を起さしむるに餘りあり一九二六年十一月巡遊の頃は其の衣裳の色相は海志茶、綠色系統のもの最も多きを認む他の飾窓に於ても亦然り材料は概して縮緬にて普通は平の無地物なりとす

概して外國婦人は帽子より衣物、靴下、靴に至るまで色相格構等に就いて調和を謀る

ことに注意しオペラバッグの如き持物までに及びて人をして一見快感を與ふることを努む本邦婦人も亦同様服裝に就て細心の注意を拂ふと雖も外國婦人は吾人の心付かぬ所に人知れぬ苦心を爲すこと頗る多きか如し此の如く服裝に關する工夫は贅澤に似て其實反て經濟的なる場合少なからず近年本邦婦人の愛用するスカーフの類は如何にも贅澤三昧に見受くれども實際上衣服に襟垢の附着するを防止するものにしてスカーフの洗濯は所謂ドライクリーニング式とし揮發油類にて洗ふときは容易く奇麗にすることを得へし斯様にスカーフは一方衣服の汚れを防ぎ之と同時に裝飾的たるものにして一舉兩得なりとす又江戸子たる婦人連中其服裝の實質左程迄高價なる品にあらざるも配色の妙合に因つて半襟と衣服、衣服と帯相互に快感を與ふるか爲引立つて見ゆるなり生活改善に熱心なる外國婦人は外觀奢侈なるか如しと雖も服裝に於ても亦經濟的に出て綾羅綿繡空しく簾笥の床に怨聲を放たしむるか如きことなく服裝の調和によりてより以上其色相柄行を美的ならしむるものなるへし



獨逸視察一斑

## 獨逸視察一斑

### 日獨貿易の大体と本邦絹織物

歐洲大戰前即ち一九一三年獨逸より本邦への輸出總額は一億二千三百萬マークにして一九二五年には一億七千八百萬マークに上り四四%の増加なり輸出品種の重なるものは硫酸アムモニアの三千七百六十萬マーク毛糸の二千四百五十萬マーク金物の二千二百萬マーク、モーターの千四百萬マーク機械類一千萬マークとす

本邦より獨逸へ輸入するものは大戰前即ち一九一三年五千三百萬マークなりしが一九二五年には二千九百萬マークに減少せり之れ四四%の減額に相當するものにして獨逸の輸出が増加せる歩合程減退せし割合なり内戰前生糸の輸入九百五十萬マークありしもの一九二五年には八〇%の減少にて百九十萬マークとなる

戰前即ち一九一三年獨逸に輸入せられし本邦絹織物は五百七十一萬八千マークにして

一九二四年には七十六萬三千マークに減退せり即ち五百萬マークに近き大減少なるか  
一九二五年には百七十八萬七千マークに増加せしも戦前の輸入金額に比すれば三二%  
に過ぎずして六九%の減額なり

戦前獨逸にて賣行ありし本邦羽二重は二十三吋物なりしか現在にては三十六吋六付多  
く電燈のシェードなどに使用せらるる羽二重に對する競争品としては獨逸製日本羽二重  
あること米國市場に於ける本邦絹織物調査中説明せしか如し(米國市場の部參照)

獨逸人氣質及戦後の状態より考察するは本邦絹織物は價格比較的低廉なるの故に一般の  
需要を喚起するものならんと推測せしに彼國にても同様の見込を以て柞蠶紡績糸を原  
糸とせる競争品はライン地方クレフェルト邊にて製織せらるる本件に就ても米國市場の  
部參照せられたし

### 獨逸の關稅

獨逸關稅中其二三を摘録すれば次の如し

#### 羽二重 (全部絹)

染色せるもの	百基	三三〇〇マーク
染色せざるもの	百基	三八〇〇マーク
絹 紬	百基	三二〇〇マーク

備考 戦前羽二重の關稅は百基三百マークに過ぎざりしか現在は三千八百マークと  
なりしを以て約十三倍近き稅金となれり今稅率を從價稅として算出すれば三  
十六吋六付の羽二重一疋の稅金は四十一マークとなりハンボルク着の價格一  
疋八十九志と假定すれば約五〇%の稅金となる又十二吋付絹紬一疋の稅金は  
六三、二八マークなれば同上絹紬の價格を六十四志と推測すれば殆んど一〇  
〇%の稅金となる(米國市場の部再録)

### 獨逸人氣質

獨逸人は忍耐持久仕事を爲すに徹底的に組織を立て規律正しく活動す其の努力は實に

驚嘆の外なし獨逸人は天才的にあらず努力に因つて成功を得成功せされは止まざるの努力を有す伯林に遊學せる在外研究員某氏曰く學問に關しても獨逸に學ぶべき所多しと雖も獨逸人の勉強振り其のものにも亦大に學ぶべき点多しと蓋し至言なりと謂つべし

巡遊中獨逸人の如何にも几帳面なる一例を舉ぐれば伯林に於けるタクシーの運轉手は祝儀を強要するか如きことなく驛の赤帽も規定以上の賃錢を食ふことなく偶規定賃錢を知らずして多く與ふることあるも其の過剰分丈は受取らず之を返へすの美風あり英國人が紳士の体度なりとは兼て承り及ひし所なるか獨逸人の禮儀の厚きにも敬服せり汽車旅行中同室に出入する獨逸人は必ず一應の挨拶を爲して乗込み下車する際にも亦然り事些細に似たりと雖も範とすへき美点といふへしマーク相場の下落其極に達し停止する所を知らず小供は母に小遣を要求するに何千マークといふか如き程度なりしか一兆マークを一マークと引換へマークの恢復を謀りし時の獨逸人の覺悟の如き國民

は土地家屋を提供して財團を組織し二十億マーク程を準備してレンチンマークを發行し以てマークの下落を挽回せり現在にては金マークとなり其爲相場場の如き戦前と異なることなし

産業組織の革新の如きも亦獨逸人氣質の表現にあらずして何とや

獨逸に於ける産業組織の革新 從來獨逸か事業の共同經營に長したるは既に已に人の知る所なるか戦後一層共同的に進みたり一二の例を舉ぐれば製鐵事業の如き先づ國內の製鐵業を合同し資金八億マークにて之か經營を爲すこととし更に進んで國際的に佛國白耳義ルクセンボルクと協定し外國市場に於て同志打を避け共榮共存の實を舉げんとす先に獨佛は瑞西のロカルノー (Locraino) に於て政治的に握手し更に經濟的に平和主義を取り製鐵事業に行動を共にせんとするは注目すべき事實なり又化學工業の國內合同は資金十一億マークを以て染料藥品等の部門を定め總本部をフランクホルトに置き世界化學工業界に一大飛躍を試みんとす但し獨逸に於ても共同經營が容易に成立す



るにあらす其實現を見るまでには幾多の難關に遭遇するものなれども堅忍不拔遂に能く其の素志を貫徹せしなり  
吾人の學ぶべき所は進取的にして規模宏大に機械力萬能にして世界第一主義なる米國にもあるべく保守的にして考熟堅實なる英國にもあるべく又組織的にして努力主義なる獨國にも之なかるべからず

### 概 括

以上は歐米巡遊十ヶ國中米國、加奈陀、英國、佛國及獨逸の五ヶ國につき其市場に於ける本邦絹織物を中心として調査せる大體を摘録せしなり今稿を終らんとするに當り更に概括して略説する所あらんとす

とまり／＼のホテルの寢具につき織物を觀察するも歐米製品と認むるものは織疵の發見に苦しむを感じたり之れ織物製造上の技術に抜目なきか爲にして機械と人とに負ふ

所多し機械は人の手の延長の如く操縦せられ職工は責任觀念を以て几帳面に仕事に當る只技術上に抜目なきのみならず經營にも抜目なく商業上にも亦抜目なし抜目なしとは惡疎なる手段を弄して一時を糊塗するの謂にあらすして水も漏さぬまでに行届きて缺陷なきを意味するなり即ち職工も工場主も店員も店主も共に抜目なきものにして必竟商工業のオルガゼーションジョンかよく整頓せる効果に歸着するものならんと考察す  
歐米に於ける産業上の競争は年と共に激甚の度を加へ英米のゴム戰の如き其一例として指を屈すべきなり製鉄業に就ては昨秋歐洲四ヶ國先づ協調を爲し人絹に在りては英獨、伊の代表的工場か今春握手して斯界に雄飛せんとするの類皆是なり此の如く競争は激烈なれども其競争たるや正堂堂々にして嫉妬の念の蟠るものなし他を陥れて己利益を占めんとするにあらすして他は宜しく進展すへし我はより以上發達すへしとの意氣に出つるものこ如し而して國內的協同の時代は既に去り今や國際的提携の時代に入りつゝあるの狀勢なりとす、此等の前提の下に左に項を分ち少しく説述して高教を仰

くの資に供せん

### 本邦絹織物と歐米品との比較大体

大体論として本邦絹織物と歐米品とを比較して考究するに後者は色相、之が調和模様等にも學ぶべき所多しと雖も特に敬服せしは寧織疵の少なきに在り抑何故に然る哉間接直接の原因幾多なき能はず原料、機械、作業振等皆其直接の因たるへしと雖も要は機械と人とに歸するものにして、しかも兩者の融和一致に在り歐米に於ては綿布用として生れたる自動織機が絹布迄に其應用範圍擴大せらるゝか如く年々歳々機械は精巧に進み人は智識の實際化に長し機械と人とか同身一体となり人の手足の延長の如く自由自在に之を操縦す本邦原始的織機なる居坐機は人か機械の一部を形成するか如き姿勢にて製織を爲すものなれば兩者形に於て類似する所なきにあらざれども作業振に於ては其赴を異にし彼は重に頭にて作業を爲し我は主として手足にて之を行ふの別あり

再說すれば彼は機械を使用し我は機械に使用せらるゝ傾向あり故に前者は巧妙なる機械を歓迎すれども後者は其精巧緻密ならんよりは寧簡單なるを喜ぶの風あり蓋し複雑ならざる方使用上容易なるか爲なるへし即ち我か職工は未だ機械に對する智識彼に劣る所あるへく縦合同等なりとするも其實際化に於て欠くる所あり隨て操縦意の如くなるに因る又本邦斯業界の或部分にては能率増進を誤解し只製産高を擧ぐれば能事足れりとし織疵など顧慮せざる向あるは戒むへし

歐米絹織物の織疵など瑕疵の少なき原因の一として更に數ふべきは職工が責任觀念強く几帳面にして仕事に親切丁寧なるの一事なり糸繰の如き平凡にして一見容易なるか如き作業に對しても細心の注意を拂ひ以て次に來るべき製織工程を一層容易ならしめ隨て瑕疵の生ずること少なき好結果を得るなり

### 内外絹業關係商工業者の經營振り

歐米該當業者の經營振りを通覽するに製造家は製産原費又商人は其の仕入値段を基礎

とし一定の利益を標準として取扱ひを爲すを原則とす勿論本邦の營業者も此の如き理想の下に經營するものなれども動もすれば損益を度外視し製造或は取引を爲すこと往々なきにあらず、本邦は舊來腹切か特色なれば自腹を切る位は平氣なりと外人間に批評ありとか斯界の先輩より承りたることあり皮肉に聞ゆれども適評なるを憾とす

歐米の絹業者は製造するにも需要の見込をつけ取引するにも價格に大体の標準を定め其主義綱領の下に勇往邁進し權威ある經營を爲し本邦營業者は損失を忍びてまでも絹織物を輸出じしかも外商は其利益なきの故を以て取扱ひを喜はざる場合あり頗ふる不利なる結果を招來せりと謂つへし右は自重心の欠乏に歸するか商品に特色なきか爲か商品を愛する念慮少なきによるか、所謂粗製濫造か其因を爲すか、經營振りに何等かの缺陷あるかなど種々なる疑問はムラ／＼と胸中に湧出せざるを得ず何れにもせよ現在の實際は注文あれば只命之れ従つて製造し値段を競争して安値く安値に之を販賣する有様なりとす

### 本邦絹業家に對する希望

遠く支那文明を本邦に輸入せし際には適當に其精神を取り之を邦化せしやに聞く染織工業に就いても古は支那近くは歐米の夫を輸入し僅々數十年を出でずして本邦の事情に適合するやう之を咀嚼嚙下したるなり將來改良研究の餘地なきにあらずと雖も異數の發達を遂げ輸出絹織物に就いては羽二重を先頭に縮緬、絹紬、富士絹、タフタ等續出せしか本邦特有品として誇るべき輸出絹織物は羽二重のみなり外國に生れたる絹織物を範とし之を本邦斯界の事情に適合せしめ輸出品として製造するも亦其一策なれども本邦特有絹織物の輸出化を本位とし研究を進め現在に於て Habutae kabe などか羅馬字綴りにて外國織物字書中に散見するか如き趨勢を其他の品種につきても實現すること望ましか言ふまでもなく歐米の嗜好流行用途等に適應するにあらざれば輸出品たり得る必要條件を欠くものなり彼の米國婦人の法被を纏ふか如き流行は邦人として推測に餘る所なれば適當なる手段を以て可及的早く流行等を察知すへきは獨本邦特有絹織



物の輸出化の問題に限らず現に相當の輸出ある絹織物の前途に就いても頗る重要な事項なりとす以上は本邦輸出絹織物の品種に關し卑見の一端を吐露せし所なるが其製造及分配に就いては慎重なる考慮を要すべきものあり製造方面にては技術上及經營上の二点に注意し合理的製産原費の輕減を謀るを必要とすしかも注文あるまに——之に應し抵抗力なきは一考を要す又製品の分配に於ても之が取扱者をして利益あらしむるにあらざれば自然商品として之を取扱ふことを避くるに至るべし良貨廉賣は顧客を吸收し投資は商品の信用を失墜するや贅言を俟たす宜しく製造家は粗製を戒めて實用上價值ある製品を出すを主眼とし濫造を慎みて權威ある製品を商業家に提供し商業家又權威ある取引を以て心となすべきなり此理想を實現せんとするには所謂オルガニゼーションの研究に歩武を進めざるべからず

本邦絹業者は工といはず商といはず勤勉努力至らざるなく之れ日も足らざる狀況なるに勞多くして功少なきの憾あり歐米人は奮勉事に當りよく働きよく遊ひ泰然として世

界の絹業界を濶步するの概あり兩者に此の如き差異ある所以のもの抑那邊に在る哉他なし結論はオルガニゼーションの問題に在り宜しく之が研究を爲し彼の精神を取つて本邦絹業界の事情に適用し角を矯めんとして牛を殺すが如き舉に出つることなく進展を企圖すべきなり組織なるかな組織なるかな

尙本邦輸出絹織物發展策の一として廣告宣傳を當面刻下の急務なりとす本件に就ては米國市場の部に於て説明しおきたれば重復を避けて茲に之を省く



昭和二年八月十八日印刷  
昭和二年八月廿三日發行

( 品 賣 非 )

著 者

福井縣工業試驗場々長  
岩 下 龍 太 郎

福井商會議所副會頭  
安 本 吉 次 郎

發 行 所

福井縣織物同業組合

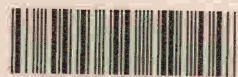
印 刷 人

福井市相生町拾六番地  
薄 金 次 助

印 刷 所

福井市相生町拾六番地  
薄 金 印 刷 所

群馬県立図書館



0497325-1